

農学部  
農学研究科  
年報

令和4年度

高崎健康福祉大学農学部  
高崎健康福祉大学大学院農学研究科



## ご 挨拶

農学部が新設されてから4年が経過し、学部の完成年度を迎えました。農学部の教育研究活動を多方面で利用して頂くための記録として発行を始めた年報も今年度で4号になりますが、大学院農学研究科が新設されたことから、農学部・農学研究科年報として発行することにしました。年報委員会を中心に取りまとめを行いました。編集作業も順調で、予定通り6月に発行することができました。

令和4年度の特筆すべきこととして、上記の大学院農学研究科の新設と学部が新設された年度に入学した1期生の卒業があります。大学院農学研究科は、生物生産学専攻1専攻のみですが、学部の完成年度より1年早く、令和4年4月に、博士前期課程と博士後期課程を同時に設置しました。今年度は、初年度ということもあり、博士後期課程1名のみでの入学でしたが、今年度の学部卒業予定者の中に大学院進学希望者がおり、その受け皿になりました。今後、食と農の最先端の知識・技能を有する高度専門職業人や研究者を養成し、地域振興と食と農の分野の発展に貢献していければと思っています。

新設の学部で、群馬県内に農学部が設置された大学がないことから、学部1期生の就職については心配していましたが、非常に順調で公務員やJA、有名企業など、100%の就職実績をあげることができました。特に、群馬県職員(1類)に5名が就職したことは驚きでした。これも、学生の皆さんの日頃の努力と、保護者の皆さまのご協力、また、ご指導いただいた農学部の教職員やキャリアサポートセンターの尽力のたまものと思います。なお、大学院進学希望の学生の内5名が本学の大学院農学研究科に進学する予定です。

授業に関しては、一部の教養の授業を除いて、新型コロナウイルス禍前の対面式授業に戻りました。そして、完成年度を迎えて、令和5年度の新入生に適用するための新カリキュラムを作成しました。方針としては、1、2年生向けに、農学部の先生方が、直接、低学年の学生に接する機会を増やすために、専門の基礎的な授業・実験科目を増やしたことと、社会のニーズに応えるために、将来、就職し、社会人となるために必要なキャリアアップ科目を1、2年生の時期に取り入れ、また、全学共通の情報リテラシー科目を全て必修にしたことです。

今年度の入学者は、昨年度より増えて85名でした。しかし、新設の学部ということもあり、昨年度に引き続き、先生方にもご協力いただき、入試広報センターと連携して、高等学校向けのガイダンスや模擬授業などを積極的に行いました。また、広報の一環として昨年度開設した農学部のホームページの常時更新と、その紹介のためのQRコード付きのリーフレットを制作し、ガイダンスや模擬授業、オープンキャンパスなど、機会あるごとに配布しました。さらに、昨年度に引き続き、「SDGsで協調する社会—私たちにできること」をテーマに「高校生論文コンテスト」を行い、全国から347点の応募がありました。また、理系の高校生向けに、新たに、食と農に関わる探求的な学びの発表の場を提供することを目的として、「高校生自由研究コンテスト」を実施し、全国から17件の応募研究があり、大学祭の時

に、受賞者の発表会を行いました。

地域や大学間の連携に関しては、令和4年4月に、宇都宮大学農学部と「教育・研究・社会貢献活動」に関する包括的連携協定を締結しました。また、10月には、富岡実業高校と高大連携事業に関する協定を締結しました。

以上のように、群馬県内唯一の農学部・農学研究科として、地域や関連分野の大学との連携の輪は着実に広がっています。健大の「自利利他」の精神に基づき、地域と連携して、健大の特徴である健康と食、そして福祉に関係した総合科学としての新しい農学の確立と、スマート農業や6次産業化などの情報化社会に適応でき、地域活性化や国際的に活躍できる人材の育成に貢献できればと考えていますので、農学部・農学研究科の教育研究活動へのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

農学部長・農学研究科長 大政謙次

## 目 次

1.	学部および研究科の概要	1
2.	学生状況	3
3.	各種委員会報告	4
3.1.	FD・自己点検委員会	4
3.2.	教務委員会	5
3.3.	学生委員会	7
3.4.	入試委員会	9
3.5.	広報委員会	10
3.6.	図書館運営委員会	12
3.7.	動物実験委員会	13
3.8.	遺伝子組換え実験安全委員会	14
3.9.	キャリアサポート委員会	15
3.10.	保健・衛生委員会	19
3.11.	地域貢献委員会（高大連携部会、公開授業ワーキンググループ）	21
3.12.	障がい学生支援委員会	22
3.13.	国際交流委員会	23
3.14.	ボランティア・市民活動支援センター（VSC）運営委員会	24
3.15.	高崎健康福祉大学農学部スマート農場運営委員会	25
3.16.	農学インターンシップ実習運営委員会	27
4.	農学部セミナー	30
5.	個人活動報告	31
5.1.	生命科学コース	31
5.2.	作物園芸システムコース	39
5.3.	フードサイエンスコース	48
5.4.	アグリビジネスコース	56
6.	受賞者リスト	60
7.	外部との連携協定	61
7.1.	宇都宮大学農学部との連携協定	61
7.2.	富岡実業高等学校との高大連携事業に関する協定	62
8.	健大通信	63
9.	大学評議員会報告	65
10.	生物生産学科ホームページ News & Topics	90
11.	来訪者リスト	105



## 1. 学部および研究科の概要

### 学部概要

農学部生物生産学科は、「生命科学コース」、「作物園芸システムコース」、「フードサイエンスコース」、「アグリビジネスコース」の4つのコースから構成されています。生命の基礎を学び、食料・食品の生産、開発、流通・販売、ブランディング、マーケティングに至る一連のサイクルを学ぶためのカリキュラムが用意されています。

4年間の教育や研究活動を通じて、「情報化社会をリードし、地域振興に貢献し、国際的に活躍できる人材」を育成します。具体的には、「食」と「農」を体系的に学び、遺伝子工学・細胞工学、ゲノムサイエンス、ICT・ドローン・グリーンハウス等の先端技術を習得し、攻めのスマート農業、食品の安心・安全そして農産物のブランド化・6次産業化、そして製薬や医療、環境問題の解決などに貢献する人材の育成を目指しています。

### 「食」と「農」を体系的・専門的に学ぶ4つのコース

The infographic features a central image of a university building with a clock tower. Surrounding it are four colored boxes, each representing a course:

- 生命科学コース (Life Science Course):** 農業・食品分野から生物、医療、環境、製薬などの生命科学・バイオテクノロジー分野まで幅広い科目を設置。遺伝子工学や植物/動物生理学を中心として、分析や統計に関する知識と実験技術なども身につけます。
- 作物園芸システムコース (Crop Horticulture System Course):** 作物学、園芸学を基礎として、ICTやゲノム解析、画像情報、高機能グリーンハウス、ドローン、地理空間情報等の先端技術を活用したスマート農業について学びます。また、地球環境、循環型社会構築等の問題にも取り組みます。
- フードサイエンスコース (Food Science Course):** 食品化学と生命科学を基礎として、食品に関する発酵・加工・分析・安全を学び、人々に安全安心を届ける食品開発や食品衛生に携わる人材を養成します。
- アグリビジネスコース (Agribusiness Course):** 食料は人間の生存にとってもっとも必要なものであり、地球の環境や資源と密接に関連しています。人々の健康や福祉を担う産業としてアグリビジネスを位置づけて、文理融合の体系的な学びを深める科目を展開しています。

## 農学研究科の概要

### 大学院農学研究科の設置

大学院農学研究科は生物生産学専攻の1専攻からなり、令和4年4月に博士前期課程（入学定員4名）と博士後期課程（入学定員2名）が同時に設置されました。設置初年度の令和4年度は、博士後期課程で1名の大学院生を受け入れました。大学院農学研究科では、「人類の健康と福祉に貢献する」という本学建学の理念のもと、食と農の基礎から生産・加工に関わる先端技術、さらには社会実装にいたるまで幅広く学ぶ農学部理念を一層深化・拡充することを目指しています。そして、総合科学としての農学の特徴を踏まえつつ、生命科学、作物園芸システム、フードサイエンス、アグリビジネスなどの教育研究を発展的に融合し、SDGsなどの食と農に関わる諸課題に対応するため、学部レベルを超えた最先端の知識・技能を有する高度専門職業人や研究者を養成します。

大学院農学研究科生物生産学専攻の担当教員と教育研究分野は以下の通りです。

生命科学	基礎生命科学	外山吉治 教授・岡本健吾 講師
	血液の流動性および食品のテクスチャーを対象としたレオロジー的研究 エピジェネティクスによる転写調節機構に関する研究	
	生命工学	川崎秀樹 教授
	昆虫変態の分子生物学的解析 遺伝子組換えカイコを利用した物質生産に関する研究	
	植物生命科学	吉積毅 教授・加藤寛 准教授
	植物細胞の「工場」化による高機能生産を達成する遺伝子組換え技術の研究開発 糸状菌を中心とした植物病原菌の挙動解析及び迅速的検出法の開発	
	動物生命科学	永井俊匡 准教授
	咀嚼の健康効果のメカニズム 食品やその成分が与える生理学的効果	
	作物園芸システム	作物学
イネおよびコンニャクにおける光合成産物の輸送と貯蔵に関する生理・遺伝学的学研究 作物の栽培方法および生産物品質に関する基礎的研究		
園芸学		荒木陽一 教授・石神靖弘 准教授
園芸作物の新品種ならびに栽培技術の開発に関する研究 園芸作物の環境応答にもとづく施設内の環境改善および生育予測に関する研究		
農業情報システム学		大政謙次 教授・清水庸 教授・大野英一 講師
フードサイエンス	衛星観測やGIS、情報ツール等を活用した地球環境・地域資源・SDGs研究 ICTや画像情報、ドローンなどを活用した植物環境応答とスマート農業研究	
	食品学	松岡寛樹 教授・熊倉慧 准教授
	漬物加工におけるメタボローム解析および抗高血圧機能に関する研究 野菜やきのこの加工における機能性研究及び機能性発現に關与する酵素の分子生物学的研究	
	食品微生物学	岡田早苗 教授
	伝統発酵食品に棲みつく乳酸菌の働きに関する生理学的・生態学的動態に関する研究 発酵食品に含まれる機能性成分および発酵用微生物の持つ物質変換能力の解明	
	食品安全学	石岡大成 准教授
	食中毒起因菌など病原微生物の制御に関する研究および分子疫学的解析に関する研究 アレルギー疾患に対する食品成分および栄養素の作用に関する研究	
	アグリビジネス	
アグリビジネス	環境・資源・通商政策と持続可能な食料供給・食料消費のあり方に関する研究 フードシステムを構成する各主体の経営戦略、組織間関係及びマーケティングに関する研究 家計と食品産業の連携による食品ロス削減に関する研究	



## 2. 学生状況

今年度は85名の1年生を迎え、2年生68名、3年生90名、そして4年生96名と合わせて、農学部 of 学生数は339名となった。

授業実施について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、マスクをつけた状態であるが、ほぼ全ての授業が対面方式でおこなわれた。但し、4月に実施予定であった、新入生が参加するフレッシュマンキャンプのみ、宿泊や飲食を伴うため中止となり、代わりに、上級生を交え学生間の親睦のためのイベントを開催した。

2019年4月入学の農学部1期生は4年生となった。就職を希望する学生全員が官公庁、企業等から内定を得た。また2月に開催した卒業論文発表会において、3年生後期から取り組んできた卒業研究の成果を発表した。3月には学位記授与式がおこなわれ、95名が卒業した。



卒業論文発表会の様子



農学部での学位記授与式の様子

### 3. 各種委員会報告

#### 3.1. FD・自己点検委員会

委員：川崎 秀樹、草薙 仁、石岡 大成、石神 靖弘

##### 活動内容

##### 1. FD・SD 活動に関する事項

9月1日に「健大の未来を描くために」というテーマで石田学長を講師として、全学FDが実施された。、それを受けて学科FDとして学部としてのブランド力の強化、教学マネジメントを中心に意見交換を行った。

##### 2. 自己点検・評価に関する事項

「点検・評価報告書（1章 理念・目的）」を作成し、全学委員会へ提出した。

農学部（生物生産学科）「2022年度自己点検・評価シート（基準01, 04, 05, 06）」を作成し、学科会議の承認を経て全学委員会へ提出した。

##### 3. 3つのポリシーに関する事項

農学部・生物生産学科の3つのポリシー定期点検会議を6月29日（水）農学部会議室で開催。学外参画者、学生委員を含めた委員で、3Pについて検討を行った。

農学部・生物生産学科3つのポリシーのアセスメントチェックを行い、1月の学科会議に提出、議論を経た後、FD・自己点検委員会に提出後、2月の農学部教授会で承認された。

##### 4. 教員マニュアルに関する事項

教員マニュアルの更新は、毎年10月と年度末に行うことになっている。前回の更新（第4版）から追加すべきコンテンツがないか検討するとともに、第5版の発出について教員に周知を強化していくことにした。

教員マニュアル改訂に関するドラフト完成後、委員内および農学部内で全体を精査し、教員マニュアルは9月末に第5版として公開された。

## 3.2. 教務委員会

委員：加藤 寛、岡本 健吾、清水 庸、松岡 寛樹、辻 聡、草苺 仁

### 活動内容

#### 1. 履修関連

農学部事務職員、授業担当教員およびアドバイザー教員の協力のもと、必修科目やリメディアル科目などの履修状況および授業の出席状況を把握し、学科会議にて情報共有をおこなうなど、学生の履修が順調に進むよう支援した。またリメディアル科目の学習到達度テストのとりまとめを行った。

来年度の時間割を作成した。

特待生や成績が振るわない学生を対象とした、アドバイザー教員や学部長による個人面談の支援を行った。

2023年度の新入生へ適用する新カリキュラムを作成し、10月の第6回教授会にて学則変更が承認された。

1期生が最終学年となったため、卒業論文提出手続き、卒論発表会開催および6階PC室の利用手続きなどを支援した。また2月の卒業判定会議開催に先立ち、農学部事務が作成した卒業判定会議資料の内容（単位取得数および資格取得状況）を確認した。

#### 2. 各種ガイダンスの開催

学修が効果的に進むように学生向けに各種ガイダンスを企画し、実施した。具体的には在学生ガイダンス（4年生：4月7日午前、3年生：4月8日午前、2年生：4月8日午後）を実施し、履修上の注意点などを伝えた。新入生ガイダンスおよびノートパソコン設定ガイダンスを実施した（4月6日）。

#### 3. コース選択の手続き

後期の履修登録期間前に2年生を対象としたコース選択を実施した。具体的には、コース選択説明会（4月13日）、コース希望順位の第1回予備調査（Web回答、4月20日〆切り）、第2回予備調査（Web回答、6月22日〆切り）、そして最終調査（Web回答、9月7日〆切り）を実施し、その後、内定結果を学生に公表した（1階掲示板、9月13日）。なお、コース選択説明会では3年次での研究室配属ルールについても説明した。

1年生を対象にしてカリキュラムに関するガイダンス（10月19日）を開催し、コース選択のルールやスケジュールを説明した。

#### 4. 履修ガイドおよびシラバスの編集

次年度からの新カリキュラム導入に伴い、農学部事務職員の協力のもと、履修ガイドの編

集作業をおこなった。

次年度版シラバスの作成を教員に依頼し、提出されたシラバスの内容を農学部事務職員と共に確認した。学生にとって履修科目の選択時において参考資料になり、履修中に授業の流れが理解できるようなシラバスの作成をおこなった。アクティブラーニングの項目が追加された。

#### 5. 転学部・転学科の手続き

10月の第6回教授会にて、「休退学・転学科に関する規程」が改正され、転学科学生を受け入れる仕組みが作られた。来年度からの転学科を希望する学生がいたため、事前面談、単位読替案の作成、面接試験の実施を支援した。

#### 6. 全学教務委員会からの情報伝達

全学教務委員会での協議事項および報告事項について、学科会議および教授会などにて農学部教員へ伝え、必要に応じて協議した。

#### 7. 3つのポリシーについて

FD・自己点検委員とともに令和5年度から適用される3つのポリシー改訂案を作成した。

6月29日に、学部長、学外評価参画者(2名)、教育改善委員(学生代表4名)、FD・自己点検委員、教務委員、入試委員が参加して、「3つのポリシ一点検会議」を開催した。会議において、教務委員はカリキュラムとCPについて説明した。その後、主に外部評価参画者と教育改善委員の質疑に答える形で意見を交換した。

#### 8. 学部内教務委員会の開催

学部内での教務委員会を開催し、上記の各事項について話し合った。開催日等は以下のとおりである。今年度の委員会はオンライン形式ではなく、会議室にて対面にて開催した。

第1回	2022年4月21日	第2回	2022年5月26日
第3回	2022年6月23日	第4回	2022年7月28日
第5回	2022年8月25日	第6回	2022年9月29日
第7回	2022年10月27日	第8回	2022年11月17日
第9回	2022年12月15日	第10回	2023年1月19日
第11回	2023年2月16日	第12回	2023年3月16日

### 3.3. 学生委員会

委員：石神 靖弘、谷 顕子、辻 聡、藤本 正太

#### 活動内容

##### 1. フレッシュマンキャンプに関する事項

2022年4月7日～8日に草津温泉で実施予定であったフレッシュマンキャンプについて準備を進めた。前年度から新3年生の有志（11名）を募り、予算要求、当日のスケジュール立案等、準備を進めていたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

代替イベントとして10号館にて感染症対策を講じたうえで、4月7日に新入生オリエンテーションを開催した。新入生の自己紹介や上級生による大学生活の紹介、各学内委員の選出、履修登録の相談、上級生主催の新入生交流会を行った。

##### 2. 農学部保護者会に関する事項

2022年6月18日に、対面とオンライン（ZOOM）の併用で行った。対面で48名、オンラインで39名の保護者の参加があった。また、同日に個別相談を行い、15件（うち、オンライン4件）の相談に対応した。

##### 3. 体育祭に関する事項

2022年11月5日に開催された体育祭について、主担当として体育祭実行委員会の統括、及び、当日の運営の補助を行った。

##### 4. 藤龍祭に関する事項

2022年10月22日・23日に開催された藤龍祭に、農学部紹介と模擬実験を出展した。模擬実験では、植物の光合成速度の測定とDNAの抽出を行った。

##### 5. 学生満足度調査に関する事項

2023年1月16日（月）～2月3日（金）に、Google formsを利用したWeb回答形式で学生満足度調査を実施した。

##### 6. 白衣・作業着の販売に関する事項

希望する1年生を対象として、白衣・作業着の試着会、及び販売を実施した。

##### 7. 優秀学生表彰に関する事項

選考方法をもとに2年生（新3年生）を対象に、表彰学生1名の選考を実施した。

8. 卒業アルバムの作成に関する事項

4月から卒業アルバム印刷業者の担当者と打合せを行い、卒業アルバムの制作業務を行った。卒業生（4年生）には研究室2名ずつの卒業アルバム係を選出してもらい、集合写真・個人写真の撮影準備や各研究室ページの作成等を卒業生とともに行った。

9. 私学スポーツ大会に関する事項

2022年10月29日～30日に開催された私学スポーツ大会に参加し、運営の補助を行った。

### 3.4. 入試委員会

委員：外山 吉治、廣瀬 竜郎、齋藤 文信、小林 泰斗、松永 安由

#### 活動内容

1. 2023 年度入学者選抜に関する事項（全学入試委員会と連携）
  - 入学者選抜問題の作成
  - 3 年次編入学試験の実施
  - 総合型選抜の実施
  - 第 1 回特別選抜（社会人・留学生）の実施
  - 大学院入試の実施
  - 転学科試験の実施
  - 健大スカラシップ選抜の実施
  - 農学部総合型選抜Ⅱ期の実施
  - 学校推薦型選抜の実施
  - 大学入学共通テストの実施
  - 一般選抜（A 日程・B 日程）の実施
  - 第 2 回特別選抜（留学生）
  - 大学入学共通テスト利用（前期・中期・後期）選抜の実施
  
2. 2023 年度入学者選抜に関する事項（全学入試委員会と連携）
  - 総合型選抜の定期的な制度見直し
  - 学校推薦型選抜の定期的な制度見直し
  - 大学入学共通テストの定期的な制度見直し
  - 一般選抜の定期的な制度見直し
  
3. その他
  - オープンキャンパスでの入学者選抜説明・個別相談の対応
  - 広報活動として高校訪問

### 3.5. 広報委員会

委員：松岡 寛樹、吉積 毅、岡部 繭子、熊倉 慧、谷 顕子

#### 活動内容

##### 1. ホームページに関する事項

本学農学部ホームページの「News&Topics」への記事の投稿を受けつけ、随時、更新を行った。記事内容はサムネイルにカテゴリーを表示し、お知らせ、学生活動、イベント・入試、地域・研究活動に分けて掲載した。2022年度は29件（2023/03/10時点）の記事を掲載した。

##### 2. 大学案内に関する事項

###### 2.1 2023年度版大学案内

2023年度版大学案内である「大学案内2024」の農学部紹介ページ作成および農学部教員関連ページに関わる校正作業を行った。また、一期生の就職先について、「内定者VOICE」として新設ページを設けたほか、主な就職先を掲載した。

###### 2.2 大学入試雑誌のインタビュー対応

進研アド大学発見ナビ、リクルートスタディサプリの在校生紹介ページのインタビューに対応した。

##### 3. 広報イベントに関する事項

###### 3.1 大学進学イベントへの参加

夢ナビライブ2022 web in summer、および in autumn での模擬授業（いずれもオンライン型）に対応した。農学部からは計2名の教員が講師として参加した（2022/07/09 齋藤、2022/10/15 吉積）。

###### 3.2 オープンキャンパスの実施

###### 3.2.1 夏のオープンキャンパス

2022夏のオープンキャンパスは、7月23日（土）、7月24日（日）、8月20日（土）、8月21日（日）の4日間にわたり、対面開催で実施した。4日間の参加者数（同伴者除く）は、52名（7/23）、40名（7/24）、51名（8/20）、45名（8/21）で、合計188名の高校生が農学部に来場された。希望に分かれて参加する後半プログラムには、個別相談が31名、農場見学が84名、ラボ見学が104名、それぞれ参加していただいた。

###### 3.2.2 春のオープンキャンパス

2023春のオープンキャンパスは、3月11日（土）に対面開催で実施した。農学部には、高校生・専門学校生33名（同伴者除く）が来場された。希望に分かれて参加する後半プログラムには、個別相談が7名、農場見学が16名、ラボ見学が18名、それぞれ参加してい



ただいた。

### 3.3 模擬授業・ガイダンスへの対応

#### 3.3.1 模擬授業対応

依頼のあった以下の高等学校に対して模擬授業を行った。

私立飛鳥未来高校 (2022/05/16 吉積)、群馬県立伊勢崎興陽高等学校 (2022/05/27 岡田)、群馬県立邑楽高等学校 (2022/06/22 谷)、栃木県立宇都宮南高等学校 (2022/07/07 石岡)、私立水戸葵陵高校 (2022/07/07 吉積)、栃木県立佐野東高等学校 (2022/07/14 藤本)、私立飛鳥未来高校 (2022/07/21 吉積)、長野県立飯山高校 (2022/07/21 永井)、群馬県立伊勢崎興陽高等学校 (2022/09/21 吉積)、栃木県立宇都宮中央・宇都宮中央女子高等学校 (2022/10/04 齋藤)、山梨県立甲府東高校 (2022/10/17 吉積)、栃木県立宇都宮南高等学校 (2022/10/20 大野)、群馬県立沼田女子高等学校 (2022/10/27 川崎)、新潟県立六日町高等学校 (2022/11/04 外山・吉積)、栃木県立真岡女子高等学校 (2022/11/10 橋田)、群馬県立高崎女子高等学校 (2022/11/11 谷)、私立高崎健康福祉大学附属高崎高校 (2022/11/21 松永)、群馬県立前橋南高等学校 (2022/12/06 熊倉・吉積)、群馬県立伊勢崎興陽高等学校 (2022/12/14 廣瀬・橋田)、高崎市立高崎経済大学附属高等学校 (2022/12/15 藤本)、私立東京成徳大学深谷高等学校 (2022/12/16 岡部)、私立叡明高等学校 (2022/12/19 荒木)、茨城県立麻生高等学校 (2022/12/19 豊田)、栃木県立真岡北陵高等学校 (2022/12/20 辻・谷)、群馬県立伊勢崎興陽高等学校 (2023/03/16 橋田)

#### 3.3.2 ガイダンス対応

依頼のあった以下の高等学校に対してガイダンスを行った。

高崎健康福祉大学附属高崎高等学校 (2022/04/10 熊倉)、群馬県立安中総合学園高等学校 (2022/06/16 松岡)、栃木県立小山高等学校 (2022/06/21 熊倉)、群馬県立渋川青翠高等学校 (2023/07/08 吉積)、群馬県立勢多農林高等学校 (2022/07/19 熊倉)、栃木県立宇都宮中央高等学校 (2022/09/20 吉積)、宮城県立気仙沼高等学校 (2022/10/04 熊倉)、私立共立女子第二高等学校 (2022/10/05 熊倉)、千葉県立薬園台高等学校 (2022/10/21 熊倉)、私立高崎健康福祉大学附属高崎高校 (2022/10/31 熊倉)、私立作新学院高崎高校 (2022/11/11 熊倉)、埼玉県立松山高等学校 (2022/11/17 齋藤)、長野県立豊科高等学校 (2022/12/14 吉積)、埼玉県立杉戸高等学校 (2022/12/19 岡部)、新潟県立五泉高等学校 (2023/03/07 吉積)、埼玉県立熊谷農業高等学校 (2023/03/14 熊倉)、栃木県立宇那須拓陽高等学校 (2023/03/20 吉積)

## 4. その他

自由研究コンテストに関して、FM 群馬「ポットラック」内の学生インタビューとして広報した。

### 3.6. 図書館運営委員会

委員：大野 英一

#### 活動内容

1. 令和4年度図書館資料費等の決算について

本年度は農学部図書（書籍）購入費の割り当ては無かった。

2. 図書資料の推薦および選定について

今年度購入する視聴覚資料の推薦について告知をおこなった。

3. データベース・電子ジャーナルの予算抑制について

購読料の高騰に対応するため、利用率が低いタイトルをキャンセルすることとなった。この課題に対する学科内での意見のとりまとめをおこなった。

4. 高崎健康福祉大学紀要第22号の発行について

高崎健康福祉大学紀要第22号の発行に向けて原稿受稿可否の判定、執筆者の資格確認、および投稿原稿4報の校閲を行った。

5. 私の薦める1冊の本の執筆依頼について

図書館運営より図書館報「藤波」第2巻22号の執筆依頼があり、アグリビジネスコースのご推薦により、アグリビジネス研究室の草苺仁先生が原稿をご担当された。「藤波」は、3月1日付にて発行された。

### 3.7. 動物実験委員会

委員：松岡 寛樹、永井 俊匡

#### 活動内容

##### 1. 動物実験計画書の審査、実施状況の確認に関する事項

本学では、科学的観点、動物福祉の観点、安全確保の観点から、関連法令・指針を踏まえた「高崎健康福祉大学動物実験等の実施に関する規程」(以下、規程とする)を定めている。この規程に則り、本学所属研究者から提出される動物実験計画の審査を、本委員会で行っている。

令和4年度は、年度更新を含めて延べ47件の実験計画を審査した。

##### 2. 教育訓練に関する事項

動物実験を本学で実施するために教育訓練を義務付けている。農学部では、生命科学コース3年次の「生命科学特別実験」の授業内にて、教育訓練を実施している。

令和4年度は、当該コース3年生19名、フードサイエンスコース4年生8名、教員3名に対して、授業内での教育訓練を、2022/06/08に実施した。また、2023/01/06に臨時の教育訓練を実施し、フードサイエンスコース3年生10名、教員1名が受講した。

##### 3. 施設等及び飼養保管状況に関する事項

令和元年度に、農学部棟1階の「農学部実験動物施設」が本学に承認された(承認番号:第3号)。令和2年度には「実験動物施設利用要綱」の承認を、全学動物実験委員会から受けた。そして令和3年度から、施設の利用が本格化している。

令和4年度は、日平均でマウス247匹・ラット1匹を飼養し、マウス628匹・ラット12匹を使用した。動物実験委員はこれらの飼養保管状況を、動物の飼養環境や健康状態を含めて定期的に点検し、施設の管理運営を行った。

##### 4. 自己点検に関する事項

規程では、動物実験の実施状況に関する自己点検・評価を行い、学長へ報告することを定めている。農学部実験動物施設について、動物実験委員長の指示のもとに自己点検作業を進めた。その結果は、全学の動物実験委員会にて取りまとめられ、本学ホームページ(下記URL)にて公開されている。

##### 5. 情報公開に関する事項

動物実験委員会では、動物実験に関する情報を本学ホームページにて公開している。

<https://www.takasaki-u.ac.jp/guide/research/animal-experiment>

### 3.8. 遺伝子組換え実験安全委員会

委員：廣瀬 竜郎（副委員長）、岡本 健吾（安全主任）

#### 活動内容

##### 1. 遺伝子組換え実験計画書の審査

本学における遺伝子組換え実験の遵守すべき事項を定め、申請された実験計画の指針に対する適合性の審査、および指導・助言を行っている。本年度は7件の遺伝子組換え実験申請の審査を行い、承認した。また、3件の変更依頼についての手続きを行った。

##### 2. 遺伝子組換え実験従事者講習会の開催

遺伝子組換え実験に従事する者に教育訓練を行い、実験の安全かつ適正な実施をサポートしている。

- ・本学において遺伝子組換え実験を行う学生及び教職員に対して、遺伝子組換え実験安全教育を行った。
- ・新任の研究者に対して遺伝子組換え実験計画書作成の説明会を行った。
- ・全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会による第14回遺伝子組換え実験安全研修会に参加した（2022/7/26）。

### 3.9. キャリアサポート委員会

委員：岡田 早苗、荒木 陽一、吉積 毅、谷 顕子

#### 活動内容

##### 1. 就職講座に関する事項

農学部では、キャリアサポートセンター（CSC）にご協力いただき、3年生向け就職講座を9回、2年生向け就職講座を2回、企画・開催した。

《3年生向け》

【農学部就職講座①】参加者：83名

日時：2022年4月21日（木）14:45～16:15

内容：インターンシップ ガイダンス

講師：提携している外部講師

【農学部就職講座②】参加者：86名

日時：2022年4月28日（木）14:45～16:15

内容：インターンシップ準備講座（前編）

講師：提携している外部講師

【農学部就職講座③】参加者：84名

日時：2022年5月12日（木）14:45～16:15

内容：インターンシップ準備講座（後編）

講師：提携している外部講師

【農学部就職講座④】

日時：2022年6月2日（木）14:45～16:15

内容：適性診断 MATCH plus 受検会

講師：提携している外部講師

【農学就職講座⑤】参加者：80名

日時：2022年6月9日（木）14:45～16:15

内容：基礎マナー講座（電話のかけ方、メールの書き方）

講師：CSC キャリアカウンセラー 小田美由紀 氏

【農学部就職講座⑥】参加者：63名

日時：2022年10月14日（金）14:45～16:15

内容：「自分軸の発見×職場の選択」

「キャリアサポートセンターの利用方法」

講師：提携している外部講師

CSC キャリアカウンセラー 白石さやか 氏

【農学部就職講座⑦】参加者：48名  
日時：2022年11月11日（金）14:45～16:15  
内容：「これだけはやっておきたい秋の就活準備講座」  
講師：提携している外部講師

【農学部就職講座⑧】参加者：49名  
日時：2023年1月11日（水）14:45～16:15  
内容：「自分に合う企業を見つけるための企業研究講座」  
講師：提携している外部講師

【農学部就職講座⑨】参加者：66名  
日時：2023年2月3日（金）14:45～16:15  
内容：「就活準備総まとめ講座」  
講師：提携している外部講師

《2年生向け》

【農学部就職講座⑩】参加者：28名  
日時：2022年5月19日（木）13:00～14:30  
内容：「適性診断 MATCH plus 受検会」  
講師：提携している外部講師

【農学部就職講座⑪】参加者：51名  
日時：2022年11月24日（木）13:00～14:30  
内容：「プレ就活ガイダンス」  
講師：提携している外部講師

## 2. 若手社会人による就職対策講座に関する事項

仕事内容や就活体験談を聞く機会を学生へ提供するために、若手社会人や就活を終えた4年生を講師として招聘し、以下の要領で開催した。参加者はそれぞれ86名、84名であった。

第1回開催日：2022年6月23日（木）4限目（14：45～16：15） 10号館201講義室

講師：①茂木隼介氏（群馬県農業技術センター園芸部花き係 技師、入庁3年目）

内容：「私が大学生から社会人になるまで」

講師：②辻萌氏（株式会社ゼンショーホールディングス、入社3年目）

内容：「私の就活体験記」

第2回開催日：2022年6月30日（木）4限目（14：45～16：15） 10号館201講義室

講師：①森島みなみ氏

（高崎市立寺尾中学校 行政栄養士、本学健康栄養学科2020年3月卒業）

内容：「高崎市で働く管理栄養士の仕事～就職までの取り組み～」

講師：②畑野あすかさん（ディップ株式会社（内定）、本学農学部4年生）

内容：「就活を通して学んだこと伝えたいこと」

### 3. 学内合同企業説明会に関する事項

群馬県食品工業協会および群馬県農業法人協会にご協力いただき、農学部主催の合同企業説明会を2回開催した。各企業の採用担当者の方にご来学いただき、企業の業務説明と学生との個別面談を実施していただいた。

(敬称略、順不同)

#### 【農学部合同企業説明会（群馬県農業法人協会）】参加者：35名

日時：2022年7月14日（木）14:00～16:30 場所：10号館3階・4階学生実験室

内容：群馬県農業法人協会の加盟企業が参加する合同企業説明会（参加企業数：7社）

参加企業：(有)あずま産直ねっと、グリーンリーフ(株)、下仁田ミート(株)、(有)高崎クエイル、(株)トマル、(有)農園星ノ環、(有)ノームランド高橋

#### 【農学部合同企業説明会（群馬県食品工業協会・群馬県農業法人協会）】参加者：39名

日時：2023年3月8日（水）13:00～16:30 場所：10号館201～206講義室

内容：群馬県内の食品・農業関連企業が参加する合同企業説明会（参加企業数：20社）

参加企業：アース環境サービス(株)、(株)大利根漬、(株)久保田農場、グリーンリーフ(株)、ぐんま県央青果(株)、(有)グルメフレッシュ・フーズ、元気ファーム20、下仁田ミート(株)、正田醤油(株)、(株)昭和食品、(株)新進、(有)高崎クエイル、高山麺業(株)、(株)登利平、(有)農園星ノ環、(有)ノームランド高橋、ハナマルキ(株)大利根工場、(有)ビクトリー、(株)ペヤングホールディングス、ロイヤルデリカ(株)

### 4. 学内企業説明会に関する事項

キャリアサポートセンターにご協力いただき、3年生向け企業説明会を学内で開催した。

#### 【農学部企業説明会①】参加者：24名

企業：インターファーム株式会社、日本フードパッカー株式会社

日時：2022年6月16日（木）16:00～17:00 場所：10号館202講義室（Web開催）

#### 【農学部企業説明会②】参加者：28名

企業：カネコ種苗株式会社

日時：2022年9月30日（金）14:45～16:15 場所：10号館201講義室

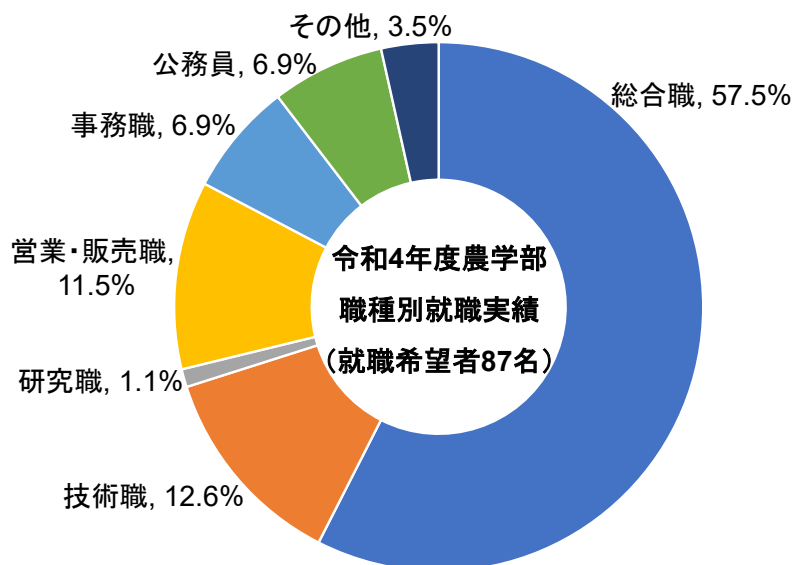
### 5. CSC キャリアアップ講座に関する事項

キャリアサポートセンター（CSC）が主催する第13回キャリアアップ講座として、農学部では10月7日（金）4限に201講義室で開催した。令和4年度の講師には、カネコ種苗株式会社くにさだ育種農場部長 兼 育種第5グループリーダーの星野健一氏を招聘し、「育種家（プラントリーダー）を目指す皆さんへ」という題目でご講演いただいた。当日は52名の学生が参加した。

6. 卒業生の進路に関する事項

2023年3月卒業生（95名）の進路は以下のとおりである。就職希望者（87名）の内定率は100%であった。

業種	内定先
官公庁	群馬県庁 5名 / 埼玉県警察
協同組合等	前橋市農業協同組合 3名 / 佐波伊勢崎農業協同組合 2名 / J A 東日本くみあい飼料 / あさか野農業協同組合 / 佐野農業協同組合 / 那須野農業協同組合
農業・林業	林牧場 2名 / カネコ種苗 / 森産業 / グリンリーフ / 上野村森林組合 / 森林環境コンサルタント / アルプスアグリキャリア 2名 / イオンアグリ創造 / ホーネンアグリ / 新田農場 / クロサワファーム / 酒見緑化園
流通・小売・外食	ツルヤ 3名 / ベイシア 2名 / とりせん 2名 / ファームドゥホールディングス / ヤオコー / ベルク / 木徳神糧 / ジェムコ / ブリヂストーンタイヤ高崎販売 / ヤマダデンキ / 和光化学 / 富士薬品 / マルエツ / ライフコーポレーション / 日本レストランシステム / オーシャンシステム / コスモス薬品
製造業（食料品）	群馬県食肉卸売市場 4名 / 原田 2名 / 新進物産 / シマダヤ / ハナマルキ / マック食品 / 富士食品工業 / キューピー / 美勢商事 / にしき食品 / 秋田屋本店
製造業（その他）	マチダコーポレーション / ユー・コーポレーション / ビット / 電気興業 / 誠和 / 新日本製薬
その他	WDB エウレカ社 / 上越観光開発 / 藤井経営 / 冬木工業 / むさしの村 / 環境技研 / エイジェック 2名 / エスアールエス / ディップ / アウトソーシング / エコパートナーズ / サカイ引越センター / コルポート / 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
進学	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 / 高崎健康福祉大学大学院農学研究科 5名





### 3.10. 保健・衛生委員会

委員：外山 吉治、石岡 大成

#### 活動内容

農学部保健・衛生委員会として、全学共通部分（感染症部会と禁煙部会）と農学部固有部分とに分けて活動した。

#### 1. 全学共通事項

##### 1.1. 感染症部会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスに感染した学生および教職員が、学内に入構することで危惧されるクラスター発生を防止するために、毎日の体温および体調を専用サイトから報告することを続けることにした。また、新型コロナウイルス対策フローなどを C-learning を通じて公開し、万一体調が優れない場合などの際は、フローを参考にして対応することができるようにした。このフローについては、新たな対策事項が生じるたびに更新された。

##### 1.2. 禁煙部会

2018年7月に改正施行された健康増進法に準じ、2019年7月より、本学キャンパス内が禁煙地区となり、2020年4月から屋内も禁煙となった。このことにより、キャンパス内および近隣地区は例外なく禁煙区域となった。この方針を受けて2022年度も引き続き喫煙者ゼロを目指した禁煙チラシを作製して配布または C-learning を通じて広報した。また、喫煙者ゼロ・受動喫煙ゼロを目指すシールを貼り付けた蛍光ペンを教職員に配布し、使用時に禁煙を意識してもらうようにした。これらの取り組みにより、農学部キャンパスで内の禁煙は現在も徹底されていると考えられる。

#### 2. 農学部内固有事項

農学部は学部の特質上、屋外での田畑作業やグリーンハウス内での果菜類の摘果などの作業（農業実習）が実施される。その際に、土壌中に存在する嫌気性細菌による致死性の高い感染症（破傷風）や昆虫による被害（主にハチ刺されによるアナフィラキシーショック）など、命にかかわる危険性に晒されることが危惧される。そこで、実習中における学生の安全性を確保するために、以下のことを実施した。

##### 2.1. 破傷風感染対策として

破傷風はワクチン接種により防ぐことが可能な感染症である。本ワクチンは小児が接種を受ける三種または四種混合ワクチンに含まれ、最後に破傷風ワクチンの接種を受けるのは、通常であれば10歳前後に接種を受けるDTワクチンであると考えられる。破傷風ワクチンの有効年数はおよそ10年と報告されていることから、最後に破傷風ワクチンの接種を

受けた時期を把握することは重要である。そこで、破傷風の予防接種実施に先立ち、保護者または母子手帳によるワクチン接種歴の確認をお願いした。これらの記録を基に希望した学生に対し破傷風ワクチン接種を実施した（2022/11/29）。

## 2.2. ハチ刺されによるアナフィラキシーショック対策として

ハチ刺されによるアナフィラキシーショックは、過去にハチに刺されたことがある者が再度ハチに刺されることにより発症する危険性の高いショックである。したがって、過去にハチに刺されたか否かを知ることは重要なことであり、その判定には抗体検査が有効である。この抗体検査は、定期健康診断の残血液を利用して実施された。

## 2.3. 破傷風ワクチン接種とハチ蜂抗体検査についての講義

学生に標記の件についての重要性を知ってもらうために、生物生産学概論 B の講義時に石岡准教授がワクチン接種と抗体検査の重要性について説明をした（2022/10/18）。

### 3.11. 地域貢献委員会（高大連携部会、公開授業ワーキンググループ）

委員：小林 泰斗、藤本 正太

#### 活動内容

1. 令和4年度高崎健康福祉大学パートナーシップ・プログラム（附属高校との高大連携）  
基礎生命科学、生命工学、植物生命科学、動物生命科学、作物学、園芸学、農業情報システム学、食品学、食品微生物学、食品安全学、アグリビジネスの各領域が体験学習を企画した。本年度は、基礎生命科学の「光る細胞を観察しよう」と農業情報システム学の「ドローンの操縦を学ぼう！」の2テーマが選択され、4名（3年生2名、2年生2名）の学生に対して実習を行った。
2. 令和4年度高崎健康福祉大学広げる未来プロジェクト（近隣高校との高大連携）  
高大連携事業として付属校だけではなく近隣高校を対象とした企画を本年度から新たに実施した。本年度は、アグリビジネス学の「遊びで学ぶSDGs」が選択され、5名（高崎健康福祉大学高崎高等学校：3年生3名、2年生1名、群馬県立吾妻中央高校：3年生1名）の学生に対して実習を行った。
3. 令和4年度公開授業  
令和4年10月28日（金）群馬県民の日に高校1、2年生を対象とした公開授業を行った。第一希望の学生がおらず、農学部の授業には高校生の参加はなかった。
4. 高崎健康福祉大学農学部と群馬県立富岡実業高等学校との高大連携協定  
令和4年10月31日（月）に、高崎健康福祉大学農学部と群馬県立富岡実業高等学校との高大連携協定を締結した。

### 3.12. 障がい学生支援委員会

委員：岡部 繭子、熊倉 慧

#### 活動内容

##### 1. 全学障がい学生支援委員会への参加

全学障がい学生支援委員会（11 回開催）での協議事項および報告事項について、必要に応じて教授会などで農学部教員へ伝達し、協議した。

##### 2. 今後について

農学部において、支援を要する学生がいる場合は、全学障がい学生支援委員会で決められたプロセスに則り、支援の申請から実施に至るまでを行う。これらの一連の手順などは、教授会にて農学部教員へ周知した。また、当委員会を通じて学生支援を行う際は、当委員会の教員と関係する教職員が連携してサポートを行う。

### 3.13. 国際交流委員会

委員：齋藤 文信、大野 英一

#### 活動内容

##### 1. 運営委員会の出席

コロナ禍の影響で、第 1 回および第 2 回の国際交流委員会のみ対面で行われ、その他の連絡はメール形式で行われた。

##### 2. 学生のグローバル化に関する事項

###### 2.1 国際交流プログラム

国際交流委員として学生受け入れプログラムによる、フィンランド (JAMK 大学)、ドイツ (Frankfurt 応用科学大学)、タイ (タマサート大学) 合同のウェルカムセレモニー(2023/02/28)に参加した。

###### 2.2 国際交流研修

国際交流研修(2022/9/13-9/16)が JICA 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所、長野県駒ヶ根市にて JICA (国際協力機構) および、JOCA (青年海外協力協会) の協力により行われた。生物生産学科からは 2 年生 1 名が参加した。

###### 2.3 Online 国際交流

Zoom 等を用いた online 国際交流が企画、実施された。クロアチアとの online 交流 (2022/11/27)には生物生産学科の学生も参加した。

###### 2.4 グローバルカフェ

外国人ゲストと学生が英語でフリートークや情報交換をするグローバルカフェが実施され、生物生産学科の学生も参加した。

###### 2.5 グローバルポイント制度

国際交流活動を推進することを趣旨として、グローバルポイント制度が開始されており、生物生産学科の学生も参加した。

### 3.14. ボランティア・市民活動支援センター（VSC）運営委員会

委員：橋田 庸一、豊田 集

#### 活動内容

##### 1. VSC 運営に関する事項

運営委員会（計 11 回、うち 1 回は書面会議）に出席した。

##### 2. 学生支援・コーディネートに関する事項

学生の専門性に合わせたボランティア活動の支援を行った。活動内容は以下の通りである。

###### ① 梨の袋掛け・ひょうで落下した実の回収作業

- ・日 時 : 2022 年 6 月 3 日 9:30～12:30
- ・参加者 : 学生 5 名（すべて生物生産学科 4 年生）、  
引率教職員 1 名（吉澤）
- ・活動場所 : 悴田梨園（高崎市下里見町）

###### ② 除草作業

- ・日 時 : 2022 年 8 月 6 日 7:30～9:00
- ・参加者 : 学生 7 名（うち、生物生産学科 2 年生 1 名、1 年生 2 名）、  
引率教職員 1 名（橋田）
- ・活動場所 : 悴田梨園（高崎市下里見町）

###### ③ 除草作業

- ・日 時 : 2022 年 8 月 10 日 7:30～9:00
- ・参加者 : 学生 8 名（うち生物生産学科 4 年生 4 名、3 年生 4 名）、  
引率教職員 1 名（吉澤）
- ・活動場所 : 悴田梨園（高崎市下里見町）

###### ④ 梨の収穫作業

- ・日 時 : 2022 年 11 月 3 日 9:30～15:00
- ・参加者 : 学生 12 名（うち生物生産学科 4 年生 5 名、2 年生 1 名、1 年生 2 名）、  
引率教員 1 名（橋田）
- ・活動場所 : 悴田梨園（高崎市下里見町）

###### ⑤ 国分になじんの収穫作業

- ・日 時 : 2022 年 12 月 10 日 9:30～12:30
- ・参加者 : 学生 14 名（生物生産学科 3 年生 8 名、2 年生 6 名）、  
引率教員 2 名（橋田、吉澤）
- ・活動場所 : 国府野菜本舗（高崎市引間町）

### 3.15. 高崎健康福祉大学農学部スマート農場運営委員会

委員：大政 謙次、荒木 陽一、川崎 秀樹、広瀬 竜郎、清水 庸、吉積 毅、石神 靖弘、  
岡部 繭子、大野 英一、橋田 庸一

#### 活動内容

##### 1. 高崎健康福祉大学農学部スマート農場運営委員会規程

農学部に設置された農場（以下、「スマート農場」という）の効率的な管理・運営ならびに利用促進を図ることを目的とする。

##### 2. 高崎健康福祉大学農学部スマート農場の利用促進に係る細則

スマート農場の利用促進に係る方策について定める。

(参考資料)

令和4年度前期作物園芸実習Iカレンダー

回数	期日	作業内容(予定)	担当研究室
1	4月20日	ガイダンス、ジャガイモ植え付け	作物・園芸
2	4月27日	ナス定植	園芸
3	5月11日	温室説明・見学	園芸
4	5月18日	サツマイモ植え付け	作物
5	5月25日	農業情報の統計解析 ①	情報
6	6月1日	農業情報の統計解析 ②	情報
7	6月8日	スマート農業実習①	情報
8	6月15日	ナス栽培管理	園芸
9	6月22日	ジャガイモ収穫	作物
10	6月29日	田植え	作物
11	7月6日	スマート農業実習②	情報
12	7月13日	ナス収穫	園芸
-	7月20日	予備日	
-	7月27日	予備日	

※上記のほかに「農作業安全講習」を実施するので参加すること。詳細は別途連絡する。

令和4年度後期作物園芸実習IIカレンダー

回数	期日	作業内容(予定)	担当研究室
1	9月28日	ダイコン・ホウレンソウ播種と準備	園芸
2	10月5日	農業情報の統計解析 ①	情報
3	10月12日	農業情報の統計解析 ②	情報
4	10月19日	イネ収穫	作物
5	10月26日	ダイコン・ホウレンソウ間引き	園芸
6	11月2日	サツマイモ収穫	作物
7	11月9日	イネ収量調査①	作物
8	11月16日	WebGIS/WebRS①	情報
9	11月23日	ダイコン・ホウレンソウ収穫①	園芸
10	11月30日	WebGIS/WebRS②	情報
11	12月7日	イネ収量調査②	作物
12	12月14日	ダイコン・ホウレンソウ収穫②	園芸
-	12月21日	予備日	
-	1月11日	予備日	
-	1月18日	予備日	

※「予備日」は教員の指示があるまで予定を入れずに空けておくこと。



ジャガイモの収穫



ハクサイの収穫



### 3.16. 農学インターンシップ実習運営委員会

委員：松岡 寛樹、齋藤 文信、岡部 繭子、加藤 寛、熊倉 慧、大野 英一、岡本 健吾、谷 顕子

#### 活動内容

##### （目標）

三年次に開講する「農学インターンシップ」は、学生が就業体験を通して自らの適性或将来設計について考えさせる機会となる。実習および事前事後学修を通じて、学習意欲および職業意識を高め、実際の就職活動や就職後に必須となる実務能力を向上させることを目標としている。

##### （履修登録前事前準備）

前年度はコロナによるオンライン授業が中心であったこともあり、学生のモチベーション向上のため二年次の12月から月1回のガイダンスを対面で実施した。どの回も出席率は6割以上であった。

- |     |           |                   |
|-----|-----------|-------------------|
| 第1回 | 2021/12/8 | 本学キャリアサポートセンター    |
| 第2回 | 2022/1/13 | 群馬県庁農政部           |
| 第3回 | 2022/2/15 | JAグループ群馬（JA群馬中央会） |
| 第4回 | 2022/3/8  | 群馬県食品工業協会、ハナマルキ   |

##### （履修登録後、実習先の選定）

本年度の履修登録者数は履修登録者数76名（内2名は前年度参加者）、次年度登録予定者1名であった。表に示したように、受け入れ先の団体数は公設試も含め55団体であり、その他コロナによる中止したところが4団体であった。また、学生による自己開拓が8団体であった。

##### （実習期間）

8月上旬から12月上旬までが実習期間となった。学生は学校指定の実習ノートを持参し、日々の活動記録を記入、実習先の担当者のチェックを終えてから、業務を終了させる。実習終了後は、学生は礼状をメール等で送付、実習先は評価シートを大学に送付し、実習が完了する。なお、実習先の求めに応じて、新型コロナウイルス抗原検査、腸内細菌検査（食中毒菌保菌検査）を実施した。

##### （実習報告会）

12/8に報告会に向けての事前説明会を行った。本年度は口頭発表形式とし、同時にオンラ

イン配信を行った。

(一年間のタイムスケジュール)

2022/4/14 ガイダンス (実習先選定方法と時期の説明)

4/28 群馬県農業関連試験場希望調査実施 (～5/9)

5/19 第1回民間企業PR会 (大利根漬)

5/26 第2回民間企業PR会 (ぐんたねファーム、TFY、タマムラデリカ)

6/2 第3回民間企業PR会 (グリーンリーフ)

8/8 実習開始 (～12/16)

12/8 インターンシップ実習報告会事前説明会

2023/2/20 実習報告会

(成績評価)

実習先の評価シートならびに大学内での報告会等の評価を点数化し、成績評価を行った。

8月にコロナの警戒レベルが上がったため、実習先確定後に、4団体から受け入れ中止の連絡があった。しかし、昨年度とは異なり、受け入れ先を紹介し、単位認定を行った。

履修辞退者1名、実習中の活動に問題があった学生1名をD判定とした。

(謝辞)

本年度は、農学部開設後初めてのインターンシップ実習であり、担当教員の手探りが続く中、コロナ禍にも関わらず、多くの団体の厚意により実施することができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

R4 年度受け入れ先および受け入れ人数

受入先		受入人数
(公的試験研究機関)		
1	群馬県農業技術センター	5
2	群馬県水産試験場	1
3	群馬県畜産試験場	2
4	群馬県庁環境森林部	2
5	太田市役所	1
6	諏訪広域消防署	1
7	宇都宮大学	1
(JA関連団体)		
8	JAたかさき	3
9	JAあがつま	2
10	JA佐波伊勢崎	4
11	JAにっためどり	2
12	JA甘楽富岡	2
13	JA前橋市	2
14	JA太田市	2
15	JA邑楽館林	2
16	榛名酪農業協同組合連合会	2
17	株式会社群馬県食肉卸売市場	2
(情報関連・種苗・農業資材メーカー)		
18	カネコ種苗株式会社	2
19	藤田ソリューションパートナーズ株式会社	2
(農業生産団体)		
20	巨理町イチゴ農家 小野勇悦氏	1
21	有限会社永田バイオ研究所	1
22	有限会社ブラウンエッグファーム	1
23	フレッシュベリー	3
24	株式会社ファーマーズトラスト	3
25	株式会社いちごの里ファーム	3
26	株式会社いちご畑	2
27	株式会社エバグリーン富士見	3
28	株式会社桑谷ファーム	2
29	有限会社滝沢牧場	6
30	株式会社ぐんたねファーム	2
31	株式会社ケア環境研究所	2
32	株式会社noca バクテシスターズ	1
33	中西ファーム	1
(食品メーカー)		
34	タママラデリカ株式会社	3
35	ハナマルキ株式会社 大利根工場	3
36	株式会社富岡食品	3
37	株式会社みまつ食品	3
38	株式会社大利根漬	3
39	上毛食品工業株式会社	1
40	群馬製粉株式会社	1
41	高崎弁当株式会社	1
42	株式会社たむらや	4
43	遠藤食品株式会社	1
44	森産業株式会社	2
45	正田醤油株式会社	2
46	聖徳銘醸株式会社	2
47	美峰酒類株式会社	2
48	株式会社旅がらす本舗	3

受入先		受入人数
(社団法人)		
49	一般社団法人群馬県薬剤師会環境衛生試験センター	2
50	公益財団法人群馬県健康づくり財団	2
51	公益財団法人神津牧場	1
(医薬・化学メーカー・分析系)		
52	株式会社蛋白精製工業	2
53	株式会社環境技研	3
(その他)		
54	株式会社 上越観光開発	7
55	岡谷商工会議所	1
コロナのため中止		
(情報関連・種苗・農業資材メーカー)		
1	株式会社みのり	
(食品メーカー)		
2	株式会社新進	
3	グリーンリーフ株式会社	
4	群馬包装トーフ	

## 4. 農学部セミナー

農学と社会の関わりを学生が知り、学ぶ機会として、2022 年度は下記のとおり、農学部セミナーを開催した。

### 第 1 回農学部セミナー

「求む！群馬県農業の応援団員！～皆さんは、まだまだ、群馬県農業の魅力を知らない！～」

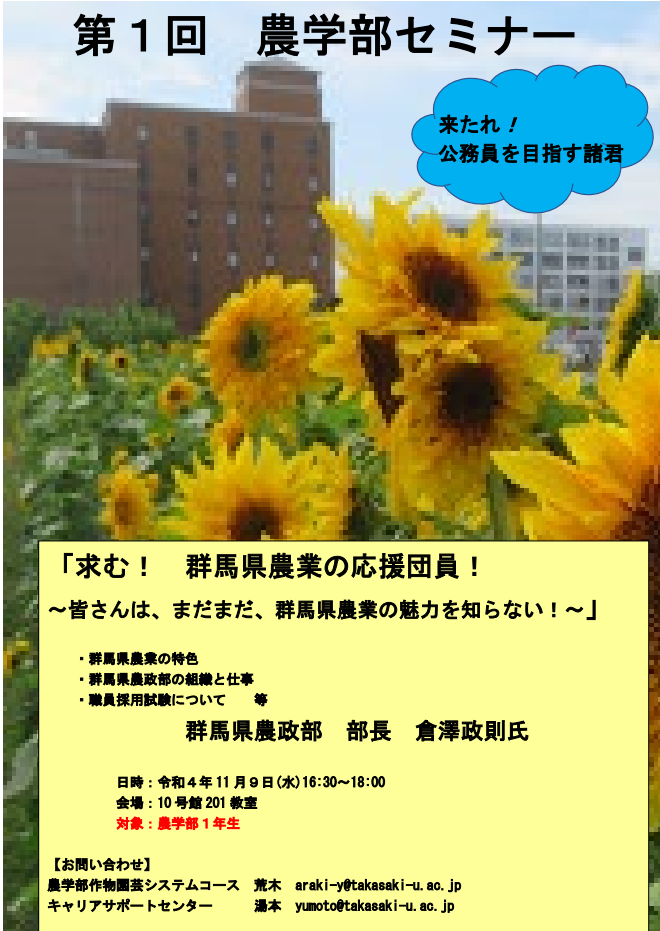
日時：2022 年 11 月 9 日（水）16:30～18:00

場所：10 号館 201 号室

講演者：群馬県農政部 部長 倉澤 政則 氏

講演内容：群馬県農政部部長を招へいし、群馬県農業の紹介と群馬県職員採用についての説明会を実施した。群馬県農業の強み・特徴や農業構造、課題、群馬県農政部の新たな挑戦、農業技師の仕事、そして採用試験について、紹介していただいた。また、本セミナーの共同主催者であるキャリアサポートセンター（CSC）からは、センターの紹介が行われ、早い段階からの当センターの利用が促された。

参加者数：学生 81 名



**第 1 回 農学部セミナー**

来たれ！  
公務員を目指す諸君

**「求む！ 群馬県農業の応援団員！**  
～皆さんは、まだまだ、群馬県農業の魅力を知らない！～」

- ・群馬県農業の特色
- ・群馬県農政部の組織と仕事
- ・職員採用試験について 等

**群馬県農政部 部長 倉澤政則氏**

日時：令和 4 年 11 月 9 日（水）16:30～18:00  
会場：10 号館 201 教室  
対象：農学部 1 年生

【お問い合わせ】  
農学部作物園芸システムコース 荒木 araki-y@takasaki-u.ac.jp  
キャリアサポートセンター 湯本 yumoto@takasaki-u.ac.jp

## 5. 個人活動報告

### 5.1. 生命科学コース

外山 吉治（とやま よしはる Yoshiharu Toyama）

【研究室】基礎生命科学

【職名】教授

#### 【学内教育活動】

##### ・担当授業科目（学部）

物理学基礎，生物生産概論 B，有機化学，生物化学，生命科学基礎実験I，生命科学基礎実験II，生命科学特別実験，専門演習 I，専門演習 II，専門演習 III，卒業研究 I，卒業研究 II，卒業研究 III

#### 【学内委員会活動】

入試委員会，保健・衛生委員会，健康管理センター運営委員会

#### 【研究業績】

##### ・外部予算獲得

科学研究費 基盤研究 C（代表）（2022-2024）

#### 【学外活動・社会貢献】

##### ・学外教育活動

太田高等看護学院 非常勤講師 「物理学」（2022/05/13-06/24）

模擬実験授業 六日町高等学校（2022/11/04）

##### ・学会活動

日本バイオレオロジー学会 会員，日本バイオレオロジー学会 監事，JBR 編集委員，バイオレオロジー・リサーチ・フォーラム運営委員

岡本 健吾（おかもと けんご Kengo Okamoto）

【研究室】基礎生命科学

【職名】講師

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

化学基礎，生物学，システム生物学，生物生産学概論 B，農学インターンシップ，生命科学基礎実験I，生命科学基礎実験II，生命科学特別実験，卒業研究I，卒業研究II，卒業研究III，専門演習I，専門演習II，専門演習III

・学内行事の担当

遺伝子組換え実験安全講習会，農学インターンシップ実習報告会（2023/02/20）

【学内委員会活動】

教務委員会，遺伝子組換え実験安全委員会（安全主任），インターンシップ委員会

【研究業績】

・学会発表・研究展示

1. 熊倉 慧，岡本健吾，小林泰斗，松岡寛樹. マンネンタケにおける  $\alpha$ -マンノシダーゼ遺伝子の解析. 日本きのこ学会第 25 回大会 ポスター展示・交流会. 2022/9/28
2. 常岡 誠，岡本健吾，田中祐司. PHF8 は HP1 $\gamma$  と KDM2A の相互作用を阻害し、rRNA 転写を調節する. 第 39 回染色体ワークショップ・第 20 回核ダイナミクス研究会. 2022/12/21, 22
3. 熊倉 慧，岡本健吾. マンネンタケの酵素遺伝子に関する研究. 第 26 回群馬県きのこ品評会研究展示 2023/01/24, 25
4. 岡本健吾，片山豪. ABO 式血液型を PCR 法で簡便に判定できる実験教材の開発. 日本生物教育学会第 107 回全国大会. 2023/3/4, 5
5. 岡本健吾，羽鳥綾真，田邊大政，片山豪. DNA 簡易抽出実験と dsDNA の可視化試薬による DNA 確認実験. 日本生物教育学会第 107 回全国大会 ワークショップ. 2023/3/4, 5

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

高校実験講座「光る細胞を観察しよう」（2022/5/26）

探究活動発表会 審査員（群馬県立富岡高校）（2022/9/8）

・学外委員会

日本生物教育学会第 107 回全国大会実行委員会 実行委員

・学会活動

日本分子生物学会 会員，日本生化学会 会員，日本生物教育学会 会員

川崎 秀樹 (かわさき ひでき Hideki Kawasaki)

【研究室】 生命工学

【職名】 教授

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

生物生産学概論 B, 分子生物学, 細胞工学, 昆虫学, 生命科学基礎実験 I, 生命科学基礎実験 II, 生命科学特別実験, 卒業研究 I, 卒業研究 II, 卒業研究 III, 専門演習 I, 専門演習 II, 専門演習 III

・ 学内行事の担当

農学部 3 つのポリシー点検会議 (2021/06/23), 農学部避難訓練 (2022/11/17)

【学内委員会活動】

FD・自己点検委員会, 危機管理委員会, 学部予算委員会

【研究業績】

・ 原著論文

1. [Kawasaki H](#), Shahin R, Fujimoto S. Proliferative and preparative cell divisions in wing discs of the last larval instar are regulated by different hormones and determine the size and differentiation of the wing of *Bombyx mori*. *J Insect Physiol.* 2023 Jan 7;145:104476.

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

模擬授業 群馬県立沼田女子高 (2022/10/27)

藤本 正太 (ふじもと しょうた Shota Fujimoto)

【研究室】 生命工学

【職名】 助教

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

生命科学基礎実験I, 生命科学基礎実験II, 生命科学特別実験, 調理学実習, 生物生産学概論 B, 遺伝子工学, 細胞工学, 専門演習 I, 専門演習 II, 専門演習 III, 卒業研究 I, 卒業研究 II, 卒業研究 III

・ 学内行事の担当

新入生オリエンテーション 補助 (2022/04/07), 保護者会 企画 (2022/06/18), 藤籠祭 企画 (2022/10/22-23)

【学内委員会活動】

学生委員会, 地域貢献委員会

【研究業績】

・ 原著論文

1. Kawasaki H, Shahin R, Fujimoto S. Proliferative and preparative cell divisions in wing discs of the last larval instar are regulated by different hormones and determine the size and differentiation of the wing of *Bombyx mori*. *Journal of Insect Physiology*, 104476. 2023.
2. Fujimoto S, Fujimaki K, Suzuki T, Katsuma S, Iwanaga M. Expression and localization of *Bombyx mori* nucleopolyhedrovirus GP37. *Virus Genes*, 1-7. 2023.

【学外活動・社会貢献】

・ 学会活動

日本蚕糸学会, 日本分子生物学会, 昆虫病理研究会

・ 学外教育活動

出前実験授業 佐野東高校 「DNA の抽出と電気泳動」 (2022/7/14)

出前実験授業 高崎経済大学附属高校 「DNA の抽出と電気泳動」 (2022/12/15)



吉積 毅（よしづみ たけし Takeshi Yoshizumi）

【研究室】植物生命科学

【職名】教授

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

生物生産学概論 B, 生命科学基礎実験 I, 生命科学基礎実験 II, 生命科学特別実験, 細胞工学, 植物生理学, 機器分析学, 専門演習 I, 専門演習 II, 専門演習 III, 卒業研究 I, 卒業研究 II, 卒業研究 III

【学内委員会活動】

広報委員会, キャリアサポート委員会

【研究業績】

・原著論文

1. Shimada S, Yanagawa Y, Munesada T, Horii Y, Kuriyama T, Kawashima M, Kondou Y, Yoshizumi T, Mitsuda N, Ohme-Takagi M, Makita Y, Matsui M. A collection of inducible transcription factor-gluorticoid receptor fusion lines for functional analyses in *Arabidopsis thaliana*. *Plant J.* 11: 595-607. 2022.
2. Viswan A, Yamagishi A, Hoshi M, Furuhashi Y, Kato Y, Makimoto N, Takeshi T, Kobayashi T, Iwata F, Kimura M, Yoshizumi T, Nakamura C. Microneedle Array-Assisted, Direct Delivery of Genome-Editing Proteins Into Plant Tissue. *Front. Plant Sci.* 13: 878059. 2022.

・総説

1. 植物のミトコンドリアゲノムを改変する. 木村光宏, 吉積毅. *生物工学* 100(11): 619. 2022.

・外部予算獲得

1. 科学研究費 挑戦的研究萌芽（代表）（2020-2022）
2. NEDO カーボンリサイクル実現を加速するバイオ由来製品生産技術の開発（分担）（2021-2025）
3. JST 未来社会創造事業（分担）（2021-2022）
4. 国内科学機器製造販売企業（代表）（2022-2023）

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

1. 夢ナビライブ in autumn（オンライン進学イベント）（2022/10/15）
2. ガイダンス 群馬県立渋川青翠高等学校（2022/07/08）, 栃木県立宇都宮中央高等学校（2022/09/20）, 長野県立豊科高等学校（2022/12/14）, 新潟県立五泉高等学校（2023/03/07）, 栃木県立宇那須拓陽高等学校（2023/03/20）
3. 模擬授業 私立飛鳥未来高校（2022/05/16）, 私立水戸葵陵高校（2022/07/07）, 私立飛鳥未来高校（2022/07/21）, 群馬県立伊勢崎興陽高等学校（2022/09/21）, 山梨県立甲府東高校（2022/10/17）, 新潟県立六日町高等学校（2022/11/04）, 群馬県立前橋南高等学校（2022/12/06）

・マスコミ広報

大学進学雑誌対応（スタディーサプリ, 大学ナビ）, 自由研究コンテスト広報（FM 群馬）

・その他

自由研究コンテスト委員

加藤 寛 (かとう ひろし Hiroshi Katoh)

【研究室】植物生命科学

【職名】准教授

【学内教育活動】

・担当授業科目 (学部)

生物生産概論 B, 植物保護学, 植物病理学, 農学インターンシップ, 生命科学基礎実験I, 生命科学基礎実験II, 専門演習 I, 専門演習 II, 専門演習 III, 卒業研究 I, 卒業研究 II, 卒業研究 III

・学内行事の担当

入学前教育スクリーニング (2022/12/18, 2023/01/21)

農学インターンシップ実習報告会 (2023/02/20)

【学内委員会活動】

教務委員会, 年報委員会, インターンシップ委員会

【研究業績】

・講演・学会発表

1. 平川真緒, 加藤寛. 強病原性イチゴ炭疽病菌株に特異的な LAMP 法の開発. 令和 4 年度日本植物病理学会関東部会. オンライン. 2022/09/15.

2. 堀込隼太, 南雲顕太, 篠原和典, 山田文典, 加藤寛. LAMP 法によるコンニャク葉枯病原細菌 *Acidovorax konjaci* の検出. 令和 5 年度日本植物病理学会大会. オンライン. 2023/03/27.

・外部予算獲得

1. 受託研究 東日本電信電話株式会社 (2022-現在)

2. スマート農業加速化実証プロジェクト (分担) (2021-2022)

3. 寄付金 株式会社エバーグリーン富士見 (2022-現在)

【学外活動・社会貢献】

・学会活動

日本植物病理学会 会員

・その他

アグリビジネス創出フェア 2022 ポスター出展「光技術を軸にした統合的病虫害防除システム開発・確立に向けた取組みのご紹介」東京. (2022/10/26-28)

永井 俊匡（ながい としただ Toshitada Nagai）

【研究室】動物生命科学

【職名】准教授

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

生物生産学概論 B, 生命科学基礎実験I, 生命科学基礎実験II, 生命科学特別実験,  
動物生理学, 動物生体機能学, 味覚科学, 専門演習I, 専門演習II, 専門演習III,  
卒業研究I, 卒業研究 II, 卒業研究III

・担当授業科目（大学院）

食品栄養学特論（食品栄養学専攻）, 栄養学特論（食品栄養学専攻）

・学内行事の担当

入学前教育スクーリング 企画（2022/12/18, 2023/01/21）  
オープンキャンパス 個別相談（2022/07/24, 2022/08/21）

【学内委員会活動】

動物実験委員会

【研究業績】

・原著論文

1. Yasuoka A\*, Nagai T\*, Lee SM, Miyaguchi H, Saito Y, Abe K, Asakura T. Mastication stimuli enhance the learning ability of weaning-stage rats, altering the hippocampal neuron transcriptome and micromorphology. Front Behav Neurosci 16: 1006359. 2022. \*: equal contribution.

・講演・学会発表

1. 李善美, 柄内亮太, 安岡顕人, 永井俊匡, 斎藤芳和, 桑原正貴, 阿部啓子, 朝倉富子. 離乳期ラットにおいて咀嚼刺激が視床下部-下垂体系を介して心拍動の制御に及ぼす影響. 日本農芸化学会 2023 年度大会. オンライン. 2023/03/16.

・外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 C（代表）（2021-2023）

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

出前授業「味覚の仕組みーおいしいとは、どういう感覚かー」飯山高校（2022/07/21）  
東洋大学 非常勤講師「味とニオイの科学」（2022/08/22-2022/08/25）

・学外委員会

日本学術振興会 R021 食と未病マーカー委員会 委員

・学会活動

日本農芸化学学会 会員, 日本栄養・食糧学会 会員, 日本食品科学工学会 会員

豊田 集（とよだ つどい Tsudoï Toyoda）

【研究室】動物生命科学

【職名】助手

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

調理学実習，生命科学基礎実験I，生命科学基礎実験II，生命科学特別実験，専門演習I，専門演習II，専門演習III，卒業研究I，卒業研究II，卒業研究III

・学内行事の担当

高校生自由研究コンテスト 2022（2022/10/22）

【学内委員会活動】

ボランティア・市民活動支援センター運営委員会，研究倫理委員会

【研究業績】

・外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 C（分担）（2021-2023）

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

模擬講義 茨城県立麻生高等学校（オンライン，2022/12/15）

・学会活動

日本農芸化学会 会員，日本栄養・食糧学会 会員

## 5.2. 作物園芸システムコース

廣瀬 竜郎 (ひろせ たつろう Tatsuro Hirose)

【研究室】作物学

【職名】教授

【学内教育活動】

・担当授業科目 (学部)

生物生産学概論 A, 作物学 I, 作物学 II, 作物園芸実習 I, 作物園芸実習 II, 作物園芸特別実験・実習, 卒業研究 III, 専門演習 III, 卒業研究 II, 専門演習 II, 卒業研究 I, 専門演習 I

【学内委員会活動】

入試委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会

【研究業績】

・講演・学会発表

1. 岡部繭子, 須藤璃音, 橋田庸一, 鹿沼信行, 山本大登, 廣瀬竜郎. 群馬県におけるベニバナインゲン在来系統の遺伝的類縁関係. 日本作物学会第 255 回講演会. 東京. 2023/03/29
2. 橋田庸一, 渡辺宙, 岡部繭子, 廣瀬竜郎. 群馬県稲麦二毛作地帯におけるイネ発酵粗飼料用品種の茎部糖蓄積. 日本作物学会第 255 回講演会. 東京. 2023/03/29

・外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 C (代表) (2022-2024)

【学外活動・社会貢献】

・学会活動

日本作物学会 会員, 日本植物生理学会 会員, 日本植物バイオテクノロジー学会 会員

岡部 繭子（おかべ まゆこ Mayuko Okabe）

【研究室】 作物学

【職名】 准教授

【受賞】 日本作物学会 第 13 回技術賞（2023/03/29）

【学内教育活動】

・ 担当授業科目（学部）

生物生産学概論 A，栽培管理学，土壤肥料学，農学インターンシップ，作物園芸実習 I，作物園芸実習 II，作物園芸特別実験・実習，専門演習 I，専門演習 II，専門演習 III，卒業研究 I，卒業研究 II，卒業研究 III

・ 学内行事の担当

夏のオープンキャンパス運営（2022/07/22-23，08/20-21），春のオープンキャンパス運営（2023/03/11）

【学内委員会活動】

広報委員会，障がい学生支援委員会，農学インターンシップ実習運営委員会，学年担任，農場運営委員会

【研究業績】

・ 原著論文

1. 清水匠，小保形航大，北國響香，廣瀬竜郎，橋田庸一，岡部繭子．群馬県地域特産ネギである下仁田ネギおよび下植木ネギの品種識別指標の検討．農流技研会報．331：9-12．2022．

・ 講演・学会発表

1. 岡部繭子，須藤璃音，橋田庸一，鹿沼信行，山本大登，廣瀬竜郎．群馬県におけるベニバナインゲン在来系統の遺伝的類縁関係．日本作物学会 第 255 回講演会．東京．2023/3/30．

2. 橋田庸一，渡辺宙，岡部繭子，廣瀬竜郎．群馬県稲麦二毛作地帯におけるイネ発酵粗飼料用品種の茎部糖蓄積．日本作物学会 第 255 回講演会．東京．2023/3/30．

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

群馬県立伊勢崎興陽高等学校 出前授業「地域特産作物は面白い！-どのくらい地元の特産作物を知っていますか？-」（2022/05/27），私立東京成徳大学深谷高等学校 出前授業「国産キャベツを一年中食卓へ～高冷地農業の役割～」（2022/12/16），埼玉県立杉戸高等学校 系統別ガイダンス（2022/12/19）

・ 学会活動

日本作物学会，日本作物学会関東支部 評議員，園芸学会 園芸学研究編集委員，食品科学工学会，北陸作物・育種学会，農産物流通技術研究会

・ マスコミ広報

群馬テレビ JA みどりの風 第 1557 話 「最先端農業を学ぶ！高崎健康福祉大学農学部」（2023/1/30）

・ その他

研究室学生卒論発表 伊勢崎興陽高等学校（2023/02/17）

橋田 庸一（はしだ よういち Yoichi Hashida）

【研究室】 作物学

【職名】 助教

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

生物生産学概論 A, 作物園芸実習 I, 作物園芸実習 II, 作物園芸特別実験・実習, 作物栄養学, 専門演習 I, 専門演習 II, 専門演習 III, 卒業研究 I, 卒業研究 II, 卒業研究 III

【学内委員会活動】

ボランティア・市民活動センター運営委員会

【研究業績】

・原著論文

1. 清水匠, 小保形航大, 北國響香, 廣瀬竜郎, 橋田庸一, 岡部繭子. 群馬県地域特産ネギである下仁田ネギおよび下植木ネギの品種識別指標の検討. 農産物流通技術研究会会報. 331: 9–12. 2022.
2. Hashida Y., Tezuka A., Nomura, Y., Kamitani M., Kashima M., Kurita Y., Nagano AJ. Fillable and unfillable gaps in plant transcriptome under field and controlled environments. *Plant, Cell & Environment* 45: 2410–2427. 2022.
3. Matsunami, M., Murai-Hatano, M., Kuwagata, T., Matsushima, U., Hashida, Y., Tominaga, Y., Masuya, Y., Nagano, AJ. Transcriptome dynamics of rice in natura: Response of above and below ground organs to microclimate. *Plant, Cell & Environment* 46: 1176–1194. 2023.

・講演・学会発表

1. Morey-Yagi, SR., Hashida Y., Okamoto, M., Odahara M., Numata, K. Elucidation of drought tolerance displayed by the expression of glycine-rich repeat regions of spider silk in tobacco. 第 39 回日本植物バイオテクノロジー学会. (2022/9/13)
2. 青野光子, 迫田和馬, 中嶋信美, 橋田庸一, 矢守航, 大政謙次. イネ品種コシヒカリにおけるオゾン耐性の遺伝的・生理的メカニズム. 第 63 回大気環境学会年会. (2022/9/16)
3. Morey-Yagi, SR., Hashida Y., Higuchi-Takeuchi, M., Horii, Y., Odahara M., Numata, K. Encoding of Rubisco Activase in plastids of tobacco improves photosynthetic performance but reduces its phenotypic plasticity to light. *Gordon Research Conference on Chloroplast Biotechnology*. (2023/03/26)
4. 橋田庸一, 渡辺宙, 岡部繭子, 廣瀬竜郎. 群馬県稲麦二毛作地帯におけるイネ発酵粗飼料用品種の茎部糖蓄積. 第 255 回日本作物学会講演会. (2023/3/30)
5. 岡部繭子, 須藤璃音, 橋田庸一, 鹿沼信行, 山本大登, 廣瀬竜郎. 群馬県におけるベニバナインゲン在来系統の遺伝的類縁関係. 第 255 回日本作物学会講演会. (2023/03/30)

・外部予算獲得

1. 科学研究費 若手研究（代表者）（2022-2024）
2. 科学研究費 基盤 C（分担）（2022-2024）
3. JST 未来社会創造事業 主たる共同研究者（2022-2024）

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

令和 4 年度研修講座「高校専門教育研修講座」（群馬県）（2022/10/13），栃木県立真岡女子高校 模擬講義（2022/11/10），群馬県立伊勢崎興陽高校 模擬実験講義（2022/12/14），群馬県立伊勢崎興陽高校 模擬実験講義（2023/03/16）

・学会活動

日本作物学会 日本作物学会紀事 編集委員会 委員, 日本植物生理学会 会員

荒木 陽一（あらき よういち Yoichi Araki）

【研究室】園芸学

【職名】教授

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

生物生産学概論 A，園芸学，果樹・花卉園芸学，作物園芸実習Ⅰ，作物園芸実習Ⅱ，作物園芸特別実習，専門演習Ⅰ，卒業研究Ⅰ，専門演習Ⅱ，卒業研究Ⅱ，専門演習Ⅲ，卒業研究Ⅲ

・学内行事の担当

令和4年度公開講座（2023/02/11），令和4年度避難訓練（2022/11/17）

・セミナー開催

第1回農学部セミナー「群馬の農業を応援してみませんか」（2022/11/09），農作業安全講習（2022/05/26）

【学内委員会活動】

危機管理委員会，地域貢献委員会，キャリアサポート委員会，子ども・家族支援センター委員会，スマート農場運営委員会

【研究業績】

・総説・解説など

1. Omasa K, Ono E, Ishigami Y, Shimizu Y, Araki Y. Plant functional remote sensing and smart farming applications. Int J Agric Biol Eng 15(4): 1-6. 2022.

・その他

1. 荒木陽一. 車イスの方もいちご狩りに行ってみませんか. 高崎市医療介護連携相談センター南大類 コラム. 6/1. 2022.

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

叡明高校 出前授業（2022/12/19）

・学外委員会

農林水産省イノベーション創出強化研究推進事業評議委員，埼玉県農業技術センター研究評価委員会委員

・学会活動

園芸学会 会員

・その他

令和4度研修講座「高校専門教育研修講座」（群馬県，2022/10/13），2022 施設園芸・植物工場展技術相談員（東京ビッグサイト，2022/07/20-22）



石神 靖弘 (いしがみ やすひろ Yasuhiro Ishigami)

【研究室】園芸学

【職名】准教授

【学内教育活動】

・担当授業科目 (学部)

生物生産学概論 A, 園芸システム制御学, 蔬菜園芸学, 卒業研究Ⅲ, 専門演習Ⅲ, 卒業研究Ⅱ, 専門演習Ⅱ, 卒業研究Ⅰ, 専門演習Ⅰ, 作物園芸実習Ⅰ, 作物園芸実習Ⅱ, 作物園芸学特別実験・実習

・学内行事の担当

新入生オリエンテーション, 保護者会, 夏のオープンキャンパス (農場見学), 藤龍祭 (学科紹介・模擬実験), 春のオープンキャンパス (農場見学)

【学内委員会活動】

FD・自己点検委員会, 学生委員会, 情報セキュリティ委員

【研究業績】

・原著論文

1. Yoshida H, Ishigami Y, Hikosaka S, Goto E. Changes in the levels of bioactive compounds in red perilla at various leaf positions and ages under different photosynthetic photon flux densities. *Acta Horticulturae* 1337. 2022.

・著書

1. 石神靖弘. 第3章3節 温度 (暖房, 保温, 換気, 冷房). 後藤英司編『施設園芸学-植物環境工学入門』朝倉書店. 東京. 70-85. 2022.

・総説・解説など

1. Omasa K, Ono E, Ishigami Y, Shimizu Y, Araki Y. Plant functional remote sensing and smart farming applications. *Int. J. Agric. & Biol. Eng.* 15(4): Cover and 1-6. 2022.  
DOI:10.25165/j.ijabe.20221504.7375.  
<https://www.ijabe.org/index.php/ijabe/article/view/7883/2678>

・外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 A (分担) (2018-2022)  
2. NEDO プロジェクト (2021-2022)

【学外活動・社会貢献】

・学会活動

生物環境工学会 理事・編集委員, 農業情報学会 理事, 生態工学会 理事, 日本農業気象学会 会員

大政 謙次（おおまさ けんじ Kenji Omasa）

【研究室】 農業情報システム学

【職名】 学部長・学科長・研究科長・教授

【受賞】 日本生物環境工学会 伊都賞（2022/09/08）

#### 【学内教育活動】

##### ・担当授業科目

生物生産学概論 A, 植物画像診断学, 農業情報計測学, 作物園芸実習I, 作物園芸実習 II, 作物園芸特別実験・実習, 卒業研究I, 卒業研究 II, 卒業研究 III, 専門演習I, 専門演習 II, 専門演習 III

##### ・学内行事の担当

学部長・学科長・研究科長

#### 【学内委員会活動】

農学部長, 生物生産学科長, 研究科長, 法人評議員会, 大学運営協議会

#### 【研究業績】

##### ・原著論文

1. Sun Z, Lu S, Omasa K. MART-Soil: a modified analytical radiative transfer mode for 2 simulating multi-angular reflection of soils with different particle size. *Geoderma* 431(116366):1-15. 2023. <https://doi.org/10.1016/j.geoderma.2023.116366>
2. Sun Z, Lu S, K. Omasa K. A new method to estimate the leaf chlorophyll content from multi-angular measurements: Anisotropy index. *IEEE T. Geosci. Remote Sens.* (2023) 61:1-14(2023) DOI:10.1109/TGRS.2023.3260308

##### ・総説・解説など

1. Omasa K, Ono E, Ishigami Y, Shimizu Y, Araki Y. Plant functional remote sensing and smart farming applications. *Int. J. Agric. & Biol. Eng.* 15(4): Cover and 1-6. 2022 DOI: 10.25165/j.ijabe.20221504.7375; <https://www.ijabe.org/index.php/ijabe/article/view/7375>; <https://www.ijabe.org/index.php/ijabe/article/view/7883/2678>
2. 大政謙次. 2022 年度日本農学会シンポジウム カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究. 農業及び園芸 98(1):1-2 2023,

##### ・講演・学会発表など

1. 大政謙次. リモートセンシング技術とスマート農業 2022/07/08. 福井県立大学（招待講演）
2. 大政謙次. 記念トークセッション. 設立 25 周年 エスペック地球環境研究・技術基金記念講演会. 2022/09/05. 大阪（招待講演）
3. 青野光子, 迫田和馬, 中嶋信美, 橋田庸一, 矢守航, 大政謙次. イネ品種コシヒカリにおけるオゾン耐性の遺伝的・生理的メカニズム. 第 63 回大気環境学会年会. 大気環境学会. 2022/09/14-16. 堺
4. 大政謙次. 閉会挨拶. 日本学術会議公開シンポジウム「東南アジアのアブラヤシ農園の持続的開発の問題点と課題」 2022/09/29. オンライン開催
5. 大政謙次. 総合討論. 2022 年度日本農学会公開シンポジウム「カーボンニュートラルの達成に向けた農学研究」 2022/10/01. オンライン開催
6. 大政謙次. 閉会挨拶. 日本学術会議公開シンポジウム「施設園芸のグリーン化に向けた課題と展望」 2022/11/15. オンライン開催
7. 大政謙次. 大政先生の 50 年間の研究から読み解く、スマート農業における様々なセンシング. KLV ホームページ (2023/03/28). <https://www.klv.co.jp/download/sensing-for-smart-farming-omas.html>

##### ・外部予算獲得

共同研究 2 社

## 【学外活動・社会貢献】

### ・学外教育研究活動

北京大学環境エネルギー学院客座教授，東北師範大学客座教授，愛媛大学客員教授・農学部非常勤講師，福井県立大学客員教授，東京大学名誉教授・農学部非常勤講師，国立環境研究所名誉研究員，GIS expert emeritus

### ・学外委員会

日本学術会議連携会員（環境科学分科会副委員長，農業生産環境工学分科会，農業情報システム分科会，地域総合農学分科会，CIGR 分科会，FE/WCRP 合同分科会），群馬県農政審議会会長，(公財)日本海洋科学振興財団評議員，(一社)学術著作権協会理事，(一社)日本国際交流発展促進協会理事，公益信託エスペック地球環境研究・技術基金運営委員

### ・学会活動

日本農業アカデミー会長・理事，日本農学会副会長・理事，日本生命科学アカデミー理事，日本農業工学会名誉顧問・理事・フェロー，農業情報学会名誉会長・理事・フェロー，日本生物環境工学会特別名誉会員・フェロー，生態工学会名誉会員・特別理事，日本農業気象学会名誉会員・顧問・フェロー，酸性雨研究会顧問，光合成学会幹事，日本リモートセンシング学会評議員，もったいない学会評議員，(財)遺伝学普及会 雑誌「遺伝」編集委員，Remote Sensing guest editor，The XX CIGR World Congress 2022 organizing committee member. 2023 生態工学会年次大会委員長.

### ・マスコミ広報

日本農業新聞 「農系大学院を開設」(2022/04/06)

教育学術新聞 「農学はワクワクする分野」(2022/05/25)

TBS N スタ 「植樹が世界を救う！？5年で15mにまで成長する「早生桐」が大注目！」(2022/11/04)

群馬テレビ 「JA みどりの風。最先端農業を学ぶ!高崎健康福祉大学農学部」(2023/01/30, 02/05/再放送)

清水 庸 (しみず よう Yo Shimizu)

【研究室】 農業情報システム学

【職名】 教授

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

農業情報解析学, 農業情報システム学, 生物生産学概論 A, 卒業研究 III, 専門演習 III, 卒業研究 II, 専門演習 II, 卒業研究 I, 専門演習 I, 作物園芸特別実験・実習, 作物園芸実習 II, 作物園芸実習 I

・ 学内行事の担当

夏のオープンキャンパス 学科紹介 (2022/07/23-24), 高校生自由研究コンテスト 2022 (2022/06/01-10/22), 春のオープンキャンパス 学科紹介 (2023/03/11), 保護者会 個別面談 (2022/06/18)

【学内委員会活動】

学長補佐, 教務委員会, 教養教育専門部会, 新型コロナウイルス感染症対策本部・教務部会, 農場運営委員会, 年報委員会

【研究業績】

・ 総説・解説など

1. Omasa K, Ono E, Ishigami Y, Shimizu Y, Araki Y. Plant functional remote sensing and smart farming applications. Int J Agric Biol Eng 15(4): 1-6. 2022.

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

高大連携パートナーシッププログラム 高崎健康福祉大学高崎高等学校「ドローンの操縦を学ぼう！」(農業情報システム学研究室の他教員とともに実施) (2022/06/13-14)

・ 学会活動

農村計画学会 評議員, 日本農業気象学会 リモートセンシング・GIS 研究部会幹事, 農業情報学会 副会長, 理事, リモートセンシング部会・部会長, 広報・社会貢献委員会・副委員長, 編集委員会, 生態工学会 役員

大野 英一（おおの えいいち Eiichi Ono）

【研究室】 農業情報システム学

【職名】 講師

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

生物生産学概論 A, 植物環境計測学, 農業情報計測学, 生物統計学, 作物園芸実習 I, 作物園芸実習 II, 作物園芸特別実験・実習, 農学インターンシップ, 卒業研究 I, 専門演習 I, 卒業研究 II, 専門演習 II, 卒業研究 III, 専門演習 III

・セミナー開催

農学インターンシップ説明会（群馬県農政部）（2023/01/12）

【学内委員会活動】

図書館運営委員会, 国際交流委員会, 予算委員会, インターンシップ委員会, 農場運営委員会

【研究業績】

・総説・解説など

1. Omasa K, Ono E, Ishigami Y, Shimizu Y, Araki Y. Plant functional remote sensing and smart farming applications. International Journal of Agricultural and Biological Engineering 15: 1-6. 2022.

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

高大連携パートナーシッププログラム 高崎健康福祉大学高崎高等学校「ドローンの操縦を学ぼう！」（農業情報システム学研究室の他教員と分担実施）（2022/06/13-15）, 栃木県立宇都宮南高等学校 模擬授業「植物と環境を計測する」（2022/10/20）

・学外委員会

NEDO 委託事業推進委員会「微細藻類由来バイオジェット燃料生産の産業化と CO<sub>2</sub>利用効率の向上に資する研究拠点及び基盤技術の整備・開発」委員

・学会活動

生態工学会国際理事副委員長, Eco-Engineering International Symposium 2022 (June 24), Vice Chair, The American Society of Agricultural and Biological Engineers (ASABE) 会員, 日本生物環境工学会会員

・社会貢献

群馬県との連携協定「群馬県における農業振興及び6次産業化推進に関わる連携協定」に基づく群馬県農政部への気象観測データの定期的な提供

・マスコミ広報

群馬テレビ, JA みどりの風, 第 1557 話 「最先端農業を学ぶ!高崎健康福祉大学農学部」(2023/01/30) 作物園芸システムコースの他教員と分担実施

### 5.3. フードサイエンスコース

松岡 寛樹（まつおか ひろき Hiroki Matsuoka）

【研究室】食品学

【職名】教授

#### 【学内教育活動】

##### ・担当授業科目

農学部：生物生産学概論 B，食品学 I および II，食品機能学，フードサイエンス基礎実験 I および II，フードサイエンス特別実験，農学インターンシップ，専門演習 I，II 及び III，卒業研究 I，II 及び III

健康福祉学研究科：応用食品学研究

農学研究科：生物生産学特論 A，食品学特論，食品安全学特論，生物生産学演習 I および II，生物生産学特別研究 I および II，応用食品学研究，生物生産学特殊研究

#### 【学内委員会活動】

教務委員会，広報委員会，農学インターンシップ委員会，動物実験委員会

#### 【研究業績】

##### ・研究展示・学会発表

1. 阿部雅子，小林泰斗，熊倉 慧，松岡寛樹，綾部園子. 下処理法の違いによるこんにやく調理品の特性について. 日本調理科学会 2022 年度大会 2022/09/03.
2. 熊倉 慧，岡本健吾，小林泰斗，松岡寛樹. マンネンタケにおける  $\alpha$ -マンノシダーゼ遺伝子の解析. 日本きのこ学会第 25 回大会 ポスター展示・交流会. 2022/09/28
3. 新島菜月，藤田顕太郎，滝沢俊介，伊藤 寛，小林泰斗，熊倉 慧，松岡寛樹. 食資源としての群馬県産蚕の栄養機能成分分析. 第 47 回群馬県分析研究会研究発表会. 2022/12/09
4. 熊倉 慧，小林泰斗，松岡寛樹. きのこ子実体の加工処理による成分変化の研究. 第 26 回群馬県きのこ品評会研究展示 2023/01/24, 25
5. 滝沢俊介，新島菜月，藤田顕太郎，小林泰斗，熊倉慧，松岡寛樹. 昆虫食としてのカイコの可能性. 群馬県蚕糸技術センター研究成果発表会 2023/02/08

##### ・メディア関連

1. 食と栄養「ウメ」 上毛新聞 元気ライフ 6 月号 Vol.75
2. 食と栄養「シャインマスカット」 上毛新聞 元気ライフ 10 月号 Vol.78
3. 食と栄養「コンニャク」 上毛新聞 元気ライフ 2 月号 Vol.83

##### ・外部予算獲得

1. 日本ケロッグ奨学寄付金研究
2. 株式会社新進奨学寄付金研究
3. 飯島藤十郎記念食品科学振興財団研究助成
4. 群馬県蚕糸技術センター研究業務委託

#### 【学外活動・社会貢献】

##### ・学外教育活動

1. 漬物グランプリ 2022 審査委員 (2022/04/30)
2. 農産物漬物 J A S 工場の品質管理担当者等資格取得のための専門講習会 (2022/05/13)
3. 長野県漬物品評会審査員 (2022/10/20)
4. 2022 年度食品衛生管理者登録講習会講師 (2023/02/11,15,17, 21-23)

##### ・学外委員会

全国漬物検査協会理事

##### ・学会活動

日本食品科学工学会代議員

熊倉 慧 (くまくら けい Kei Kumakura)

【研究室】食品学

【職名】准教授

【学内教育活動】

・担当授業科目

農学部：生物生産学概論 B，食品保蔵学，食品加工学，食品機能学，フードサイエンス基礎実験I及びII，フードサイエンス特別実験，農学インターンシップ，専門演習I，II及びIII，卒業研究I，II及びIII

健康福祉学研究科：応用食品学特論

農学研究科：生物生産学特論A，食品学特論，食品微生物学特論，生物生産学演習 I，生物生産学演習 II，生物生産学特別研究 I，生物生産学特別研究 II，応用食品学研究，生物生産学特殊研究

【学内委員会活動】

広報委員会，障がい学生支援委員会，農学インターンシップ委員会

【研究業績】

・総説・解説など

1. 熊倉慧. マンネンタケ子実体抽出物に含まれる酵素の機能. アグリバイオ. **6**. 922-924. 2022

・研究展示・学会発表

1. 阿部雅子，小林泰斗，熊倉 慧，松岡 寛樹，綾部園子. 下処理法の違いによるこんにやく調理品の特性について. 日本調理科学会 2022 年度大会 2022/09/03.
2. 熊倉 慧，岡本健吾，小林泰斗，松岡寛樹. マンネンタケにおける  $\alpha$ -マンノシダーゼ遺伝子の解析. 日本きのこ学会第 25 回大会 ポスター展示・交流会. 2022/9/28
3. 新島菜月，藤田顕太郎，滝沢俊介，伊藤 寛，小林泰斗，熊倉 慧，松岡寛樹. 食資源としての群馬県産蚕の栄養機能成分分析. 第 47 回群馬県分析研究会研究発表会. 2022/12/09
4. 熊倉 慧，岡本健吾. マンネンタケの酵素遺伝子に関する研究. 第 26 回群馬県きのこ品評会研究展示 2023/01/24, 25
5. 熊倉 慧，小林泰斗，松岡寛樹. きのこ子実体の加工処理による成分変化の研究. 第 26 回群馬県きのこ品評会研究展示 2023/01/24, 25
6. 滝沢俊介，新島菜月，藤田顕太郎，小林泰斗，熊倉 慧，松岡寛樹. 昆虫食としてのカイコの可能性. 蚕糸技術センター成果発表会 2023/02/8

・外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 C (代表) (2021-2024)

・その他

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

1. 2022 年度食品衛生管理者登録講習会講師 (2023/02/17, 24, 28, 03/1)
2. 進路説明会講師 栃木県立小山高等学校他 9 校 (2022/04/13-2023/03/14)
3. 南八幡学童クラブ・第二学童クラブ科学教室講師 (2022/08/08, 22)

・学会活動

日本きのこ学会編集委員，日本食品科学工学会，日本農芸化学会

・マスコミ広報

1. 特集・白内障/食と栄養「桑」元気らいふ 5 月号 vol.74 上毛新聞 (2022/05/11)
2. 特集・アトピー性皮膚炎/食と栄養「シイタケ」元気らいふ 10 月号 vol.79 上毛新聞 (2022/10/12)
3. 特集・貧血/食と栄養「ハウレンソウ」元気らいふ 1 月号 vol.82 上毛新聞 (2023/01/11)

小林 泰斗 (こばやし たいと Taito Kobayashi)

【研究室】食品学

【職名】助教

【学内教育活動】

・担当授業科目

生物生産学概論 B, フードサイエンス基礎実験I, フードサイエンス基礎実験II, フードサイエンス特別実験, 卒業研究 I, 専門演習 I, 食品分析学, 卒業研究 II, 専門演習 II, 卒業研究 III, 専門演習 III

・学内行事の担当

保護者会 個別相談 (2022/6/18), 夏のオープンキャンパス 個別相談 (2022/7/23), 夏のオープンキャンパス 入試説明 (2022/8/21)

【学内委員会活動】

入試委員会, 地域貢献委員会, 感染性廃棄物・廃液処理委員会

【研究業績】

・研究展示・学会発表

1. 阿部雅子, 小林泰斗, 熊倉慧, 松岡寛樹, 綾部園子. 下処理法の違いによるこんにやく調理品の特性について. 日本調理科学会 2022 年度大会 2022/09/03.
2. 熊倉 慧, 岡本健吾, 小林泰斗, 松岡寛樹. マンネンタケにおける  $\alpha$ -マンノシダーゼ遺伝子の解析. 日本きのこ学会第 25 回大会 ポスター展示・交流会. 2022/9/28
3. 新島菜月, 藤田顕太郎, 滝沢俊介, 伊藤 寛, 小林泰斗, 熊倉 慧, 松岡寛樹. 食資源としての群馬県産蚕の栄養機能成分分析. 第 47 回群馬県分析研究会研究発表会. 2022/12/09
4. 熊倉 慧, 小林泰斗, 松岡寛樹. きのこ子実体の加工処理による成分変化の研究. 第 26 回群馬県きのこ品評会研究展示 2023/01/24, 25
5. 滝沢俊介, 新島菜月, 藤田顕太郎, 小林泰斗, 熊倉慧, 松岡寛樹. 昆虫食としてのカイコの可能性. 蚕糸技術センター成果発表会 2023/02/8

【学外活動・社会貢献】

・学会活動

食品科学工学会 会員



岡田 早苗（おかだ さなえ Sanae Okada）

【研究室】食品微生物学

【職名】教授

【学内教育活動】

・担当授業科目（学部）

生物生産概論B，微生物学，応用微生物学，食品免疫学，フードサイエンス基礎実験Ⅰ，フードサイエンス基礎実験Ⅱ，フードサイエンス特別実験，専門演習Ⅰ，卒業研究Ⅰ，専門演習Ⅱ，卒業研究Ⅱ，専門演習Ⅲ，卒業研究Ⅲ

【学内委員会活動】

健康管理センター運営委員会，キャリアサポート委員会，学部運営委員会，大学院設置委員会

【研究業績】

・講演・学会発表

1. 岡田早苗. 漬物と乳酸菌の話，第6期「発酵の学校」 講師（2022/07/23）日本橋室町野村ビル
2. 岡田早苗. 乳酸菌と伝統発酵食品 ―伝統の中から知る乳酸菌のはたらき―，発酵技術高度化研究会講演会，講師，長野県工業技術総合センター（2023/03/01）

・外部予算獲得

1. 長野県木曾町（共同研究費）
2. 群栄化学 株式会社（研修費）

【学外活動・社会貢献】

・学外教育活動

小山高校探求プログラム インターンシップ生徒 3 名受入 栃木県立小山高校（2022/11/15）

・学会活動

日本農芸化学会，日本生物工学会，日本食品科学工学会，日本微生物資源学会，日本乳酸菌学会（名誉会員）顧問（編集担当）

辻 聡 (つじ あきら Akira Tsuji)

【研究室】 食品微生物学

【職名】 助教

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

生物生産概論 B, 調理学実習, フードサイエンス基礎実験 I フードサイエンス基礎実験 II, フードサイエンス特別実験, 食品機能学, 専門演習 I, 卒業研究 I, 専門演習 II, 卒業研究 II, 専門演習 III, 卒業研究 III,

・ 学内行事の担当

体育祭主担当 (オンライン配信および開催の総括) (2022/11/9), 高校生自由研究コンテスト 2022 (2022/6/01-10/22)

【学内委員会活動】

教務委員会, 学生委員会, 年報委員会,

【研究業績】

・ 原著論文

1. 鈴木智典, 石塚雄一, 糸田侑花, 植松悠, 渡邊昭夫, 野村佳歩, 辻聡, 館博, 野口龍生, 阿部晃, 新村洋一, 内野昌孝. 過酸化脂肪酸還元性乳酸菌による加水乾燥オカラの発酵, 日本食品保蔵学会誌, 48( 5), 213- 220, 2022 年 09 月 30 日 渋谷往男. 企業の農業参入の現状. 農業経営研究. 57(3) : 89-93. 2019.

・ 講演・学会発表

1. 辻聡, 真下理杏, 館博, 岡田早苗. みりん粕が持つレジスタントプロテインの胆汁酸吸着能. 第 31 回 日本健康医学会総会. 東京. 2022/11/12  
2. 辻聡. 身近で奥の深い発酵食品. 第 40 回 群馬栄養改善学会. 群馬. 2023/2/25

・ 外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 C (代表) (2022-2024)  
2. 醤油 PR 協議会 (2022-2023)  
3. 岡直三郎商店 (2021-2023)

・ その他

1. 学内研究交流助成金 (2019-2022) (共同研究者)  
2. 学内研究交流助成金 (2022-2024) (共同研究者)

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

理科スクール 高崎健康福祉大学 (2022/8/10)  
模擬実験講義 栃木県立真岡北陵高 (2022/12/20)  
埼玉県産業技術総合センター 客員研究員 (2022/6/1-2023/3/31)

・ 学会活動

日本乳酸菌学会 編集委員, 泊まり込みセミナー委員, 全国味醂協会 会員, 日本健康医学会 評議員, 日本食品保蔵科学会 会員

石岡 大成 (いしおか たいせい Taisei Ishioka)

【研究室】 食品安全学

【職名】 准教授

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

食品衛生学、食品安全学、フードサイエンス基礎実験Ⅰ、フードサイエンス基礎実験Ⅱ、フードサイエンス特別実験、卒業研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ、専門演習Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ、生物生産学概論B、微生物学 (看護実践開発センター感染管理認定看護師教育課程)

・ 担当授業科目 (大学院)

生物生産学特殊研究

・ 学内行事の担当

1年生担任

【学内委員会活動】

保健衛生委員会、研究倫理委員会、FD・自己点検委員会、看護実践開発センター感染管理認定看護師教育課程教員会

【研究業績】

・ 原著論文

1. Hachisu Y, Tamura K, Murakami K, Fujita J, Watanabe H, Tanabe Y, Kuronuma K, Kubota T, Oshima K, Maruyama T, Kasahara K, Nishi J, Abe S, Nakamura M, Kubota M, Hirai S, Ishioka T, Ikenoue C, Fukusumi M, Sunagawa T, Suzuki M, Akeda Y, Oishi K. Invasive Haemophilus influenzae disease among adults in Japan during 2014-2018. Infection. 2022 Jul 28.
2. Sada M, Kimura H, Nagasawa N, Akagawa M, Okayama K, Shirai T, Sunagawa S, Kimura R, Saraya T, Ishii H, Kurai D, Tsugawa T, Nishina A, Tomita H, Okodo M, Hirai S, Ryo A, Ishioka T, Murakami K. Molecular evolution of the Pseudomonas aeruginosa DNA gyrase gyrA gene. Microorganisms. 2022 Aug 17;10(8):1660.

・ 講演・学会発表

1. 石岡大成, 梅田成美, 大島昂平, 奥村茉莉, 佐々木麻帆, 堀口遙香, 永井亜矢, 井田志津, 松永安由. 低温殺菌食品の殺菌工程における食中毒菌の挙動. 令和4年度(第43回)日本食品微生物学会学術総会. 2022/09/29-30.
2. 松島匡祐, 栗原大輔, 松永安由, 石岡大成. 鶏肉からのアルコバクター属菌の分離状況および分離菌株の特徴. 令和4年度(第43回)日本食品微生物学会学術総会. 2022/09/29-30.
3. 石岡大成. ペット業界に求められる繊維製品 ~獣医師の目線で~. 群馬県立産業技術センター、群馬県繊維工業技術振興会令和4年度講演会. 2023/01/20.

・ 外部予算獲得

1. 令和4年度ぐんま技術革新チャレンジ補助金 キトサン配合ペット・動物用抗菌ケアスプレーの開発 研究協力者

【学外活動・社会貢献】

・ 模擬講義

栃木県立宇都宮南高校 水耕栽培の栽培水に生息する微小生物の観察 (2022/07/07)

・ 高大連携関連受託検査

群馬県立伊勢崎興陽高校 自家製造品 (ピクルス) の賞味期限設定のための細菌検査

・ 集中講義

食品安全マネジメント基礎講座 (HACCP研修:3日間コース) (補講) 開講 SOMPO リスクマネジメント株式会社危機管理コンサルティング部 (2022/02/14-15)

・ 公開講座

石岡大成. 食品の衛生微生物検査と殺菌技術. 長野県産業人材カレッジ事業技術講座 (2022/06/22-23).

・ **学外教育活動**

群馬パース大学 ゲストスピーカー「微生物学実習」(2022/04-06)、国立感染症研究所 ゲストスピーカー「細菌研修」(2022/10/14, 27)

・ **学外委員会**

群馬県動物愛護普及啓発検討委員会 委員長 (2020-現在)、群馬県食品安全審議会 委員 (2022-現在)

・ **学会活動**

日本食品微生物学会 評議員および学術総会実行委員、日本細菌学会 会員、日本感染症学会 会員、日本獣医師会 会員

・ **その他**

高崎市内企業との共同商品開発 (ペット用品用) 商品名: キトヴェール (抗菌、抗ウイルス製剤)

松永 安由（まつなが あゆ Ayu Matsunaga）

【研究室】 食品安全学

【職名】 助手

【学内教育活動】

・ 担当授業科目

調理学実習, フードサイエンス基礎実験I フードサイエンス基礎実験II, フードサイエンス特別実験, 食品免疫学, 専門演習I, 卒業研究I, 専門演習II, 卒業研究II, 専門演習III, 卒業研究III

・ 学内行事の担当

夏のオープンキャンパス 個別相談担当 (2022/7/23-24)

【学内委員会活動】

入試委員会 (学部)

【研究業績】

・ 原著論文

1. Kyoko Noda, Yuki Hirakawa, Tomomi Nishino, Ritsuto Sekizuka, Marin Kishimoto, Tomohiro Furukawa, Sakiko Sawane, Ayu Matsunaga, Naoki Kobayashi, Kazutoshi Sugita, Kenji Oonaka, Hiroko Kawakami, Yuji Otsuka, Tetsuya Yamamoto, Toshihiro Yamamoto, Taku Yoshiya, Maiko Watanabe, Machiko Saka, Keiko Momma, Masayo Kushiro, Shiro Miyake. Preparation of Monoclonal Antibodies Specifically Reacting with the Trichothecene Mycotoxins Nivalenol and 15-Acetylivalenol via the Introduction of a Linker Molecule into Its C-15 Position. *Toxins*. 14(11):747. 2022.

・ 講演・学会発表

1. 石岡大成, 梅田成美, 大島昂平, 奥村茉莉, 佐々木麻帆, 堀口遙香, 永井亜矢, 井田志津, 松永安由. 低温殺菌食品の殺菌工程における食中毒菌の挙動. 第43回日本食品微生物学会学術総会. 東京. 2022/9/29.

2. 松島匡祐, 栗原大輔, 松永安由, 石岡大成. 鶏肉からのアルコバクター属菌の分離状況および分離菌株の特徴. 第43回日本食品微生物学会学術総会. 東京. 2022/9/30.

・ 外部予算獲得

1. 令和3年度健康づくり研究助成「あさを賞」(2021-2022) (研究代表者)

2. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (2022-2027) (研究代表者)

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

模擬講義 高崎健康福祉大学高崎高校 (2022/11/21)

・ 学外活動

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所ワクチンマテリアルプロジェクト 協力研究員 (2020-2023)

群馬県衛生環境研究所 客員研究員 (2022/8/26-2023/3/31)

・ 学会活動

日本栄養・食糧学会 会員, 日本農芸化学会 会員, 日本免疫学会 会員, 食品微生物学会 会員

## 5.4. アグリビジネスコース

草苺 仁（くさかり ひとし Hitoshi Kusakari）

【研究室】アグリビジネス

【職名】教授

### 【学内教育活動】

#### ・担当授業科目（学部）

生物生産学概論 A, アグリビジネス論, 食料経済学, 農業保護と貿易の経済学,  
アグリビジネス特別演習, 専門演習I, 専門演習II, 専門演習III, 卒業研究I,  
卒業研究II, 卒業研究III

#### ・学内行事の担当

夏のオープンキャンパス 学科紹介, 模擬授業 (2022/08/21)  
高校生論文コンテスト 2022 (2021/04/04-12/21)

### 【学内委員会活動】

FD・自己点検委員会, 教務委員会

### 【研究業績】

#### ・講演・学会発表

1. 草苺仁. 日本農経シンポジウム1「農業基本法は 2.0 から 3.0 へーバックキャスティングによる課題の明確化ー」コメンテーター. アジア農業経済学会国際会議日本大会. 東京. 2023/03/19.

#### ・外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 C (代表) (2022-2024)

### 【学外活動・社会貢献】

#### ・学外教育活動

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校「みらい探究全校成果発表会」指導講評 (2022/06/10)  
群馬県立中央中等教育学校「総合的な学習の時間 (5 年生)」SDGs 依頼講義 (2023/03/09)

#### ・学会活動

日本農業経済学会 名誉会員, 日本フードシステム学会 理事, 日本農業経営学会 正会員,  
日本家政学会 正会員

齋藤 文信 (Fuminobu Saito)

【研究室】 アグリビジネス

【職名】 准教授

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

生物生産学概論 A, 農業経営戦略論, フードサービス産業論, 食と農のブランド化論, アグリビジネス特別演習, 農学インターンシップ, 専門演習I, 卒業研究I, 専門演習II, 卒業研究II, 専門演習III, 卒業研究III

・ 学内行事の担当

保護者会「農学インターンシップ実習」「海外日本食事情演習」説明担当 (2022/06/18), 春のオープンキャンパス入試説明・個別相談担当 (2023/3/11)

【学内委員会活動】

入試委員会, 国際交流委員会, 農学インターンシップ実習運営委員会, 農学部全国高校生論文コンテスト事務局および審査業務

【研究業績】

・ 著書

1. 齋藤文信. 『フードサービス業の野菜調達における農業との組織間関係』オリンピア. 大阪. A5 版総 P102. 2022.

・ 総説・解説など

1. 齋藤文信, 谷頭子. 農業法人の SDGs への取り組み状況の分析・解説について. 公益社団法人日本農業法人協会. 2022.

・ 講演・学会発表

1. 齋藤文信. 農業と外食の連携の意義—論点整理—. 日本フードサービス学会研究部会. 東京. 2022/12/19.

・ 外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 B (代表) (2022-2024)
2. 科学研究費 基盤研究 C (分担) (2022-2024)
3. 学会研究助成 日本フードサービス学会研究助成 (代表) (2022-2024)
4. 自治体受託調査研究 群馬県やま・さと応援隊活動調査 (代表) (2022)
5. 財団受託調査研究 秋田県小坂町生ゴミ処理方法等調査 (代表) (2022)

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

出前授業栃木県立宇都宮中央高等学校 (2022/10/4), 夢ナビライブ 2022 in Autumn 「質問対応・研究室訪問」 (2022/10/15・16)

・ 学外委員会

第 145 回秋田県種苗交換会談話会議長, 群馬県産農畜産物ブランディング支援業務品目別部会委員

・ 学会活動

日本農業経営学会理事, 日本フードシステム学会編集委員, 日本フードサービス学会研究委員会委員, 日本フードシステム学会会員, 日本農業経済学会会員, 東北農業経済学会会員

・ マスコミ広報

農業協同組合新聞「SDGs に積極的な農業法人 代表者若く女性従業員多い」(2022/06/13), 京都新聞「女性従業員多いと SDGs 積極的」(2022/06/13), 上毛新聞「農業法人を調査 SDGs 女性多いほど積極的」(2022/06/14), 秋田魁新報「農業法人を調査 SDGs 従業員女性比率高いほど積極的」(2022/06/14), 山陰中央新報「女性多いと SDGs 積極的 農業法人調査、若

い代表者も」(2022/06/14), 全国農業新聞「代表者若いほど SDGs に積極的」(2022/07/01), 商経アドバイス「女性と Z 世代期待」(2022/07/04), 日本農業新聞「代表若く、女性多い、売上高い」(2022/07/17), 秋田魁新報「談秋田米ブランド再構築 PR や高品質化議論」(2022/10/31)

・ **その他**

第 145 回秋田県種苗交換会談話会：議長「『オールラウンダーを目指す秋田米ブランドの再構築について』～”サキホコレ”本格デビューを迎えて～」議長解題・司会進行・総括(2022/10/30)



谷 顕子 (たに あきこ Akiko Tani)

【研究室】 アグリビジネス

【職名】 講師

【学内教育活動】

・ 担当授業科目 (学部)

生物生産学概論 A, 現代農業事情, 食と農の地域社会学, 簿記会計学, 農学インターンシップ, アグリビジネス特別演習, 専門演習I, 卒業研究I, 専門演習II, 卒業研究II, 専門演習III, 卒業研究III

・ 学内行事の担当

フレッシュマンキャンプ代替イベント (2022/04/07), 保護者会 運営 (2022/06/18), 夏のオープンキャンパス 運営 (2022/07/23, 2022/07/24, 2022/08/20, 2022/08/21), 高校生論文コンテスト 2022 (2022/04/04-12/21), 春のオープンキャンパス 運営 (2023/03/11)

【学内委員会活動】

広報委員会, キャリアサポート委員会, 農学インターンシップ実習運営委員会, 学生委員会, 年報委員会, 4年生学年担任

【研究業績】

・ 総説・解説など

1. 齋藤文信, 谷顕子. 農業法人の SDGs への取組み状況の分析・解説について. 公益社団法人日本農業法人協会. 2022.

・ 外部予算獲得

1. 科学研究費 基盤研究 B (分担) (2022-2024)  
2. 自治体受託調査研究 群馬県やま・さと応援隊活動調査 (分担) (2022)  
3. 財団受託調査研究 秋田県小坂町生ゴミ処理方法等調査 (分担) (2022)

【学外活動・社会貢献】

・ 学外教育活動

出前授業 群馬県立高崎女子高等学校 (2022/11/11)  
高大連携授業「令和4年度高崎健康福祉大学広げる未来プロジェクト」担当 (2022/07/02)

・ 学会活動

日本農業経営学会 常任編集委員, 日本農業経済学会 正会員, 地域農林経済学会 正会員, 日本家政学会 正会員, 日本フードシステム学会 正会員

・ 学外委員会

上毛新聞 オピニオン 21 委員 (-2022/10/31)

・ マスコミ広報

上毛新聞 視点「意識高め取り組み推進 農業経営者と SDGs」(2022/04/20),  
上毛新聞 視点「環境負荷減らす生活を 「足跡」から見る地球」(2022/06/12),  
上毛新聞 視点「未来に向け充実の夏に 大学を知る・感じる」(2022/08/05),  
上毛新聞 視点「当事者として関心持つ 気象災害と地球温暖化」(2022/09/30),  
農業協同組合新聞「SDGsに積極的な農業法人 代表者若く女性従業員多い」(2022/06/13),  
京都新聞「女性従業員多いと SDGs 積極的」(2022/06/13),  
上毛新聞「農業法人を調査 SDGs 女性多いほど積極的」(2022/06/14),  
秋田魁新報「農業法人を調査 SDGs 従業員女性比率高いほど積極的」(2022/06/14),  
山陰中央新報「女性多いと SDGs 積極的 農業法人調査、若い代表者も」(2022/06/14),  
全国農業新聞「代表者若いほど SDGs に積極的」(2022/07/01),  
商経アドバイス「女性と Z 世代期待」(2022/07/04),  
日本農業新聞「代表若く、女性多い、売上高い」(2022/07/17)

## 6. 受賞者リスト

受賞者名	受賞年月	受賞内容
大政 謙次	2022 年 9 月	日本生物環境工学会 伊都賞 受賞理由「指導的立場での学会の振興に対する顕著な貢献」
岡部 繭子	2023 年 3 月	第 13 回日本作物学会 技術賞 業績「事前乾燥処理を組み込んだ水稻種籾の高温温湯消毒技術」

## 7. 外部との連携協定

### 7.1. 宇都宮大学農学部との連携協定

令和4年4月18日に高崎健康福祉大学農学部と国立大学法人宇都宮大学農学部との間で教育・研究・社会貢献活動に関する包括的な連携を締結しました。本連携は、両校の教育・研究活動全般に関わる交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の進展と地域社会の発展に資することを目的としています。

#### 宇都宮大学農学部と高崎健康福祉大学農学部との 教育・研究・社会貢献活動に関する包括連携協定書

宇都宮大学農学部と高崎健康福祉大学農学部（以下、「両校」という。）は、教育・研究・社会貢献活動に関する包括的な連携について、以下のとおり協定する。

##### （目的）

第1条 両校は、教育・研究活動全般に係る交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の進展と地域社会の発展に資することを目的として本協定を締結する。

##### （連携項目）

第2条 前条の目的を達成するために行う連携項目は次のとおりとする。

- (1) 教職員、研究者及び学生の相互交流
- (2) 共同研究活動の推進
- (3) 教育、研究活動について情報の交換
- (4) 社会貢献活動
- (5) その他、両校が合意した事項

2 前項の連携に関する具体的な事項については、別途協議する。

##### （管理責任）

第3条 本連携の具体的な実施に当たっては、両校の部局長が管理責任を負う。

##### （秘密保持等）

第4条 両校の秘密保持義務の扱い並びに本連携から生じる知的財産等の成果物の取扱い及び本連携から生じる学術情報の発表については、別途定める取決めに従うものとする。

##### （協議）

第5条 本協定の定めのない事項については、両校は誠実に協議のうえその都度決定する。

##### （有効期限）

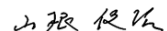
第6条 本協定の有効期間は、締結の日から令和5年3月31日までとする。但し、本協定の有効期間満了の日から1ヶ月前までに、両校のいずれからも協定の終了または見直し等の申出がない場合は、本協定は、更に1年間延長されるものとし、その後も同様の取扱いとする。

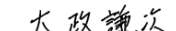
本協定の締結を証するため、協定書2通を作成し、各々1通を保有する。

令和4年4月18日

宇都宮大学農学部長

高崎健康福祉大学農学部長





## 7.2. 富岡実業高等学校との高大連携事業に関する協定

令和4年10月31日に高崎健康福祉大学農学部と群馬県立富岡実業高等学校との高大連携事業に関する連携協定の調印式が執り行われました。本協定は高校生が自らの視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学が求める学生像及び大学の教育内容への理解を深めるために、かつ高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的としています。

<p>高崎健康福祉大学農学部と群馬県立富岡実業高等学校との 高大連携事業に関する協定書</p>	<p>令和4年10月31日</p>
<p>高崎健康福祉大学農学部（以下「甲」という。）と群馬県立富岡実業高等学校（以下「乙」という。）は、相互の教育に係る連携を図るため、次のとおり協定を締結する。</p>	<p>群馬県高崎市中大瀬町54番地 高崎健康福祉大学農学部長</p>
<p>（趣旨）</p> <p>第1条 この協定は、甲と乙が相互の信頼関係に基づく連携を通じて、高校生が自らの視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学が求める学生像及び大学の教育内容への理解を深めるため、かつ高校教育・大学教育の活性化を図るための事業（以下「高大連携事業」という。）に取り組むものとする。</p>	<p>群馬県富岡市富岡451番地 群馬県立富岡実業高等学校校長</p>
<p>（高大連携事業の内容）</p> <p>第2条 高大連携事業の内容は次のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1)甲から乙への講師派遣</li><li>(2)甲の授業への乙の生徒の受け入れ</li><li>(3)甲による各種講座への乙の生徒の受け入れ</li><li>(4)甲が実施する高大接続教育への乙の支援</li><li>(5)甲乙の実施する課外活動などにおける交流活動の実施</li><li>(6)その他、甲乙が協議し同意した事業</li></ul>	<p>署名 <u>木改謙次</u> </p>
<p>（有効期限）</p> <p>第3条 本協定は協定締結の日から発効し有効期限は、令和5年3月31日までとする。ただし、期限満了の3ヶ月前までに甲又は乙のいずれから更新しない旨の申し出がない場合には、更に1年間更新し、以後も同様とする。</p>	<p>署名 <u>高橋 康</u> </p>
<p>（事故責任）</p> <p>第4条 甲又は乙に所属する教職員等が、本事業に係る事業に参加している際に発生した事故については、当該構成員の所属する機関が責任を負うものとする。</p>	
<p>（協議事項）</p> <p>第5条 本協定に定めのない事項について定める必要が生じたとき又は本協定に定める事項を変更しようとするときは、甲及び乙が協議の上、定める。</p>	
<p>この協定書は2通作成し、甲乙両者記名押印の上、各自1通を保有するものとする。</p>	

## 8. 健大通信

生物生産学科での教育や研究内容を広く伝えることを目的として、昨年10月にオリジナルウェブサイトの公開を始めました。全学のウェブサイトでは5学部・8学科の情報がわかりやすく紹介されています。生物生産学科のウェブサイトは、全学のウェブサイトとの情報に繋がるかたちで作られており、学科の4つのコース、生命科学、作物園芸システム、フードサイエンス、そしてアグリビジネスコースの詳しい内容、そして大学院農学研究科や附属農場（スマート農場）を紹介し、教育、研究の状況をまとめた年報も公開しています。また研究室ごとのウェブページを作り、研究室のニュースやトピックス、教員の情報を紹介しています。各教員が研究室のウェブページを更新できるため、新しい情報を迅速に公開できる仕組みです。ウェブページは全学のものと同じスタイルを用い、統一感を持たせており、またスマートフォンとパソコンのどちらでも閲覧できます。

学科のウェブサイトを公開するにあたり、ウェブサーバー名の登録、全学ウェブサイトとのリンクの手続きを情報システム管理課にご担当いただきました。また、入試広報センターのご協力により、これから発行される大学案内「2023 Guidebook 高崎健康福祉大学」に、ウェブサイトの二次元コードを掲載します。大学案内での情報に加え、新しい情報を保護者や受験生に提供可能となります。今後、このウェブサイトを活用しながら、農学部・生物生産学科の教育や研究の魅力を伝えていく予定です。

学科  
Topics

# 08

農学部・生物生産学科  
オリジナルウェブサイトの公開

生物生産学科  
教授 清水 庸

生命科学コース

<https://agri.takasaki-u.ac.jp/life/>



作物園芸システムコース

<https://agri.takasaki-u.ac.jp/crop/>



フードサイエンスコース

<https://agri.takasaki-u.ac.jp/food/>



アグリビジネスコース

<https://agri.takasaki-u.ac.jp/agribiz/>



▲ 4 コースの web ページと二次元コード

健大通信 2022 年 4 月号 Vol. 37

探究心満載

## 「高校生論文コンテスト2021」開催報告

生物生産学科 教授 草苺 仁

生物生産学科では、広報活動の一環として「高崎健康福祉大学高校生論文コンテスト2021」を企画・開催しました。高校生に探求的な学びの場を提供し、論文形式でその成果を募集して、優秀作品を顕彰することが事業の内容です。周知を図るため、農林水産省、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMAに後援を依頼しました。

令和3年度は「私たちの時代の食料・環境・資源マネジメントを探る」というテーマで論文を募集したところ、全国から213件の応募がありました。応募論文を厳正かつ公正に審査した結果、学長賞(賞状と副賞として奨学金10万円)1件、優秀賞(賞状と副賞として奨学金3万円)2件、学校賞(10点以上の論文を応募した学校に授与。賞状と副賞として図書カード1万円分)3件が選考され、本学ホームページや新聞記事で公表されました。


ご協力頂いた各後援機関、本学理事長、学長、入試広報センター、農学部長はじめ学科関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

受賞作品は次のとおりです。  
それぞれ受賞校へ赴いて表彰式を行いました。

学長賞：齊藤衣純さん(神奈川県立横浜翠嵐高等学校 3年)  
「世界人口100億人のタンパク質を確保する方法についての考察」

優秀賞：樹澤明日美さん(群馬県立中央中等教育学校 5年)  
「米の消毒液を世界へーコロナ禍における加工品の提案ー」  
渡邊朝香さん(高崎健康福祉大学高崎高等学校 1年)  
「ゲームで学ぶ環境問題」

学校賞(五十音順)：群馬県立勢多農林高等学校、群馬県立中央中等教育学校、高崎健康福祉大学高崎高等学校



▲学長賞表彰式(横浜翠嵐) ▲優秀賞表彰式(中央中等) ▲優秀賞表彰式(健大高崎)

健大通信 2022 年 4 月号 Vol. 37

学科  
Topics

08

農学部・生物生産学科  
地域の課題解決に向けた活動紹介

生物生産学科 准教授 齋藤 文信

生物生産学科では群馬県内唯一の農学部として、地域の課題解決に積極的に取り組んでいますので、今回2つの取り組みをご紹介します。

1つ目は令和3年度から採択されている、群馬県農政部農村整備課の委託事業「群馬県やま・さと応援隊活動調査」による群馬県西部地域の果樹産地活性化です。主に3年生を中心としたグループが、果樹産地が抱える課題解決のため、新たな果実加工品の提案や若者目線での果物消費拡大方法の提案などに取り組んでいます。

2つ目は、今年度から始まった群馬県富岡市の「農家の課題解決プロジェクト」です。このプロジェクトは富岡市農業の課題解決に向けた新しい試みとして、農業経営者・市・健大生の三者が連携し収穫時期の人手不足解消に取り組むものです。初年度の今年度は、8月の夏休み期間中に1年生から3年生までの学生が参加しました。

これらの取り組みは、地域に貢献することはもちろんのこと、学生にとっては講義で学んだことを現場で活かす貴重な機会でもあり、キャリア形成について考える場にもなっています。



▲梅林での果樹経営者や県農政部の方々と意見交換



▲富岡市農林課によるプロジェクトの説明会

## 9. 大学評議員会報告

### 第1回評議員会報告(2022/05/20)

#### (1) 令和4年度 農学部キャリアサポート委員会活動

キャリアサポートセンターのご協力のもと、3年生向けに下記の就職講座を企画・開催しました。

#### 【R4 農学部就職講座①】

日時：令和4(2022)年4月21日(木)

14:45~16:15

場所：10号館203講義室

内容：インターンシップ ガイダンス

講師：提携している外部講師

参加者：学生 83名



(4月21日の様子)

#### 【R4 農学部就職講座②】

日時：令和4(2022)年4月28日(木)

14:45~16:15

場所：10号館203講義室

内容：インターンシップ準備講座(前編)

「生物系専攻学生の進路とは」

講師：提携している外部講師

参加者：学生 86名



(5月12日の様子)

#### 【R4 農学部就職講座③】

日時：令和4(2022)年5月12日(木)

14:45~16:15

場所：10号館203講義室

内容：インターンシップ準備講座(後編)

「インターンシップのエントリー、参加準備」

講師：提携している外部講師

参加者：学生 84名

## 第2回評議員会報告（2022/07/15）

### （1）宇都宮大学農学部と高崎健康福祉大学農学部との教育・研究・社会貢献活動に関する包括連携協定

令和4（2022）年4月18日、宇都宮大学農学部と高崎健康福祉大学農学部は教育・研究・社会貢献活動に関する包括的な連携について協定を結びました。本協定は、教育・研究活動全般に係る交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の進展と地域社会の発展に資することを目的としています。

### （2）令和4年度 農学部キャリアサポート委員会活動

キャリアサポートセンターのご協力のもと、2年生および3年生向けに下記の就職講座を企画・開催しました。

#### 【R4 農学部就職準備講座①】《2年生向け》

日時：令和4（2022）年5月19日（木）

13:00～14:30

場所：10号館 202 講義室

内容：適性診断 MATCH plus 受検会

講師：提携している外部講師

参加者：学生 28名



（5月19日の様子）

#### 【R4 農学部就職講座④】《3年生向け》

日時：令和4（2022）年6月2日（木）

14:45～16:15

場所：10号館 201 講義室

内容：適性診断 MATCH plus 受検会

講師：提携している外部講師

#### 【R4 農学就職講座⑤】《3年生向け》

日時：令和4（2022）年6月9日（木）

14:45～16:15

場所：10号館 201 講義室

内容：基礎マナー講座（電話のかけ方、メールの書き方）

講師：CSC キャリアカウンセラー 小田美由紀氏

参加者：学生 80名



【R4 農学部企業説明会①】《3 年生向け》

日時：令和 4（2022）年 6 月 16 日（木）

16:00～17:00

場所：10 号館 202 講義室

内容：農学部企業説明会

（Web 開催、日本ハムグループ）

参加先：インターファーム株式会社 様

日本フードパッカー株式会社 様

参加者：学生 24 名



（6 月 23 日の様子）

【農学部就職対策講座①】《3 年生向け》

日時：令和 4（2022）年 6 月 23 日（木）

14:45～16:15

会場：10 号館 201 講義室

内容：就職活動体験談、現在の仕事紹介など

講師：茂木 隼介 氏（群馬県農業技術センター）

辻 萌 氏

（株式会社ゼンショーホールディングス）

参加者：学生 86 名



（6 月 30 日の様子）

【農学部就職対策講座②】《3 年生向け》

日時：令和 4（2022）年 6 月 30 日（木）

14:45～16:15

会場：10 号館 201 講義室

内容：就職活動体験談、現在の仕事紹介など

講師：森島 みなみ 氏（高崎市立寺尾中学校 行政栄養士、本学健康栄養学科 2020 年卒業）

畑野 あすか さん（農学部 4 年生）

参加者：学生 84 名

### (3) 農学部保護者会を開催しました

令和4（2022年）6月18日（土）に農学部の保護者会を開催しました。今年度の保護者会も対面とオンライン（Zoom）の併用で行い、対面で48名、オンラインで39名の保護者の方にご参加いただきました。保護者会の内容として、新型コロナウイルス感染症に対する本学の取り組みや教育課程の内容、インターンシップ実習、就職活動のサポート、学生生活や大学院への進学等についてご説明しました。

保護者会終了後は希望者を対象にキャンパス見学を行い、45名の保護者の方を各教室や学生実験室へ案内しました。案内先では農学部教員による設備や実習の内容についての紹介を行いました。

更に、希望される方にはアドバイザー教員による個別相談も行いました。個別相談には、対面で11名、オンラインで4名の保護者の方がご参加されました。



大政学部長による挨拶



松岡教授による説明

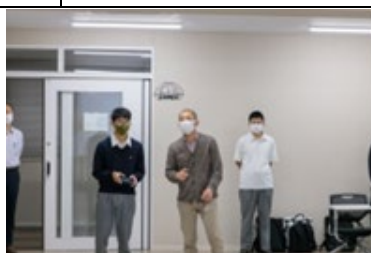
#### (4) 農学部地域貢献委員会 高大連携部会

農学部地域貢献委員会 高大連携部会では例年、高崎健康福祉大学高崎高等学校の生徒を対象とした高大連携事業（高崎健康福祉大学パートナーシップ・プログラム：PP）を実施しています。今年は高崎健康福祉大学パートナーシップ・プログラムに追加して系列高校以外からの参加が可能な拡げる未来プロジェクト（FP）を実施しました。

テーマ	光る細胞を観察しよう。	ドローンの操縦を学ぼう！	遊びで学ぶ SDGs
日時	令和 4（2022）年 5月 26日（木） 13：30～15：00	令和 4（2022）年 6月 13 日（月）、6月 14日（火） 16：50～18：00	令和 4（2022）年 7月 2日（土） 13：00～14：00
参加者	2年生 2人、3年生 2人	2年生 2人、3年生 2人	健大高崎 2年生 2人、 3年生 3人 他校 3年生 1人
内容	生命科学研究で活用されている細胞培養技術と遺伝子組換え技術について解説した。学生は、顕微鏡で培養細胞を観察し、GFP 遺伝子が導入された細胞内のどの部分で GFP タンパク質が発光しているのかを調べた。	近年、色々な分野で利用されるようになったドローンについて、最先端のドローンに関連する研究を解説した。さらに、実際にフライト・シミュレーターを使ってドローン操縦の練習を行い、最終的に本物の機体の操縦を体験していただいた。	近年話題になっている SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）について「持続可能な開発」という概念の意味や背景を講義形式で学習したあと、“すごろく”を使った遊びを通じて、SDGs の 17 のゴールを一緒に学んでいきます。



光る細胞を観察しよう。



ドローンの操縦を学ぼう！



遊びで学ぶ SDGs



## 学生の感想

- 光の色によって細胞が光るのは今回の講義ではじめて知りました。色によって核が見えたり見えなかったりと、他の核も見てみたいと興味が湧きました。（光る細胞を観察しよう）
- ドローンの使い方や農業への活かし方など知ることができて楽しかった。（ドローンの操縦を学ぼう！）
- 遊びながら学ぶことが出来たので、勉強が苦手な私でもとても楽しく学ぶことが出来ました。（遊びで学ぶ SDGs）

### (5) 教育学術新聞での農学部・生物生産学科の紹介記事

教育学術新聞（5月15日）の「農業はワクワクする分野」の欄にて、農学部生物生産学科が紹介されました。記事では本学農学部の総合的学問に則した4つのコース、インターンシップなどの取り組みが紹介されています。さらに食糧安全保障に関わる学問として、これからの展望などが示されています。

### (6) 上毛新聞での農学部・生物生産学科の紹介記事

上毛新聞（6月29日）の「農学部でドローン教室 操縦士ライセンス取得へ」の欄にて、農学部生物生産学科が紹介されました。記事では農業分野での活用が増えているドローンの知識や技術を身に付けてもらおうと、農学部の学生向けに操縦士ライセンスを取得できる教室が開設されたことが取り上げられています。

## 第3回評議員会報告（2022/10/15）

### (1) 令和4年度 農学部キャリアサポート委員会活動

下記の通り、2回の企業説明会および1回のキャリアアップ講座を実施しました。

#### 【農学部合同企業説明会（群馬県農業法人協会）】

群馬県農業法人協会の加盟企業による合同企業説明会を開催しました。当日は7社のご参加をいただき、農業法人協会の会長様のご挨拶、農業法人協会のご説明、ならびに各社からの自己紹介をいただきました。その後、各ブースに分かれ、学生と面談していただきました。35名の学生が参加しました。

日時：令和4（2022）年7月14日（木）14:00～16:30

場所：10号館3階・4階学生実験室

内容：群馬県農業法人協会の加盟企業が参加する合同企業説明会

主催：高崎健康福祉大学農学部



合同企業説明会の様子（7月14日）

**【R4 農学部企業説明会】《3年生向け》**

日時：令和4（2022）年9月30日（金）14:45～16:15

場所：10号館 201 講義室

内容：カネコ種苗株式の企業説明会

参加者：学生 28名



（9月30日の様子）

**【R4 農学部キャリアアップ講座】《3年生向け》**

日時：令和4（2022）年10月7日（金）14:45～16:15

場所：10号館 201 講義室

題目：育種家（プラントブリーダー）を目指す皆さんへ

講師：カネコ種苗株式会社くにさだ育種農場部長

兼 育種第5グループリーダー

星野 健一 氏

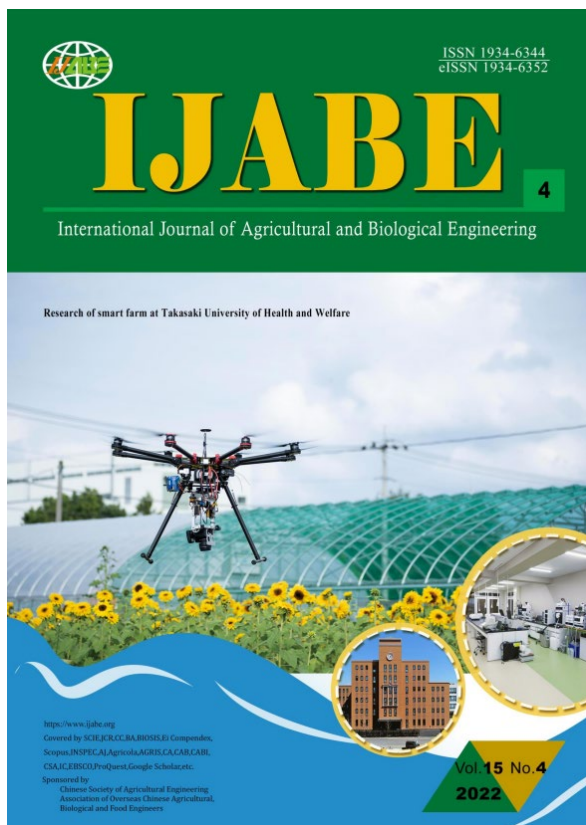
参加者：学生 52名



（10月7日の様子）

(2) International Journal of Agricultural and Biological Engineering の表紙に本大学農学部が掲載されました

査読付きのオープンアクセス国際ジャーナル International Journal of Agricultural and Biological Engineering Vol.15 No.4 の表紙に本大学農学部が掲載されました。



### (3) 日本学術会議公開シンポジウムの運営に参画しました

11月15日(火)に開催された日本学術会議公開シンポジウム「施設園芸のグリーン化に向けた課題と展望」(オンライン開催)に大政学部長が運営委員として参画しました。

日本学術会議公開シンポジウム

## 施設園芸のグリーン化 に向けた課題と展望

「経済と環境の好循環」を実現する産業政策として位置づけられているグリーン成長戦略の推進に向け、食料安全保障の基盤を担う農業においても、環境に配慮した発展や持続性の確保、すなわちグリーン化の重要性が増している。本来、施設園芸は、栽培環境を改善することで、市場性の高い園芸作物を効率的に生産できる可能性を有しているが、環境制御にエネルギーを使用することもあり、省エネルギー化や環境負荷低減がより一層求められている。本シンポジウムでは、植物工場を含めた施設園芸のグリーン化に向け、ゼロエミッション、カーボンニュートラル、資源循環などの観点から、必要な研究・技術開発の方向性について、農業生産環境工学的視点を中心に議論する。

**2022年11月15日(火)**  
**13:00 ~**  
**オンライン開催**

**参加無料**

**プログラム**

**挨拶** 仁科 弘重 (日本学術会議第二部会員、愛媛大学学長)

**講演**

**園芸施設の化石燃料ゼロ消費にむけた課題**  
奥島 里美 (日本学術会議連携会員、国立研究開発法人 農研機構 企画戦略本部スマート農業事業推進室)

**植物工場における省エネ・省資源技術の海外動向**  
林 絵理 (非営利活動法人植物工場研究会副理事長)

**施設園芸・植物工場のエネルギー・物質収支のモデリングと解析**  
後藤 英司 (日本学術会議連携会員、千葉大学大学院園芸学研究院教授)

**高精度植物生体情報を活用した施設生産のカーボンニュートラル戦略**  
高山 弘太郎 (日本学術会議第二部会員、豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授・愛媛大学大学院農学研究科教授)

**地域で発生する有機性廃棄物の施設栽培に向けた資源化**  
遠藤 良輔 (日本学術会議連携会員、大阪公立大学大学院農学研究科講師)

**栽培施設の設置場所の最適化—都市農業の可能性—**  
前木 康臣 (日本学術会議連携会員、山口大学大学院創成科学研究科教授)

**閉会挨拶** 大政 謙次 (日本学術会議連携会員、高崎健康福祉大学農学部学部長教授、東京大学名誉教授)

**主催**: 日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会、食料科学委員会・農学委員会合同農業情報システム学分会  
**後援**: 日本農業気象学会、日本生物環境工学会、農業施設学会、日本農業工学会(順不同、予定を含む)  
**参加申し込み**: 11月8日までに、ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp までに、氏名、所属、メールアドレスをお知らせください  
**問い合わせ先**: 山口大学 前木 Tel: 083-933-5864 E-mail: ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp

公開シンポジウムのポスター

### 第4回評議員会報告 (2022/12/8)

#### (1) 令和4年度 農学部キャリアサポート委員会活動

キャリアサポートセンターのご協力のもと、2年生・3年生向けに下記の就職講座を企画・開催しました。

#### 【R4 農学部就職講座⑥】 《3年生向け》

日時: 令和4(2022)年10月14日(金)

14:45~16:15

場所: 10号館201講義室

内容: 「自分軸の発見×職場の選択」

「キャリアサポートセンターの利用方法」

講師: 提携している外部講師

CSC キャリアカウンセラー 白石 さやか 氏

(10月14日の様子)

参加者: 学生 63名



【R4 農学部就職講座⑦】 《3年生向け》

日時：令和4（2022）年11月11日（金）

14:45～16:15

場所：10号館201講義室

内容：「これだけはやっておきたい秋の  
就活準備講座」

講師：株式会社マイナビ キャリアサポーター

参加者：学生 48名



（11月11日の様子）

【R4 2年生向け農学部就職講座】

日時：令和4（2022）年11月24日（木）

13:00～14:30

場所：10号館203講義室

内容：「プレ就活ガイダンス  
～今、2年生知ってほしいこと～」

講師：提携している外部講師

参加者：学生 51名



（11月24日の様子）

（2）高崎健康福祉大学 高校生自由研究コンテスト2022が開催されました

今年度より始まった本コンテストは「食と農に関わるテーマ」に、探究的な学びの発表の場を提供することを目的に、オリジナルで未発表の自由研究を募集し、おかげさまで全国から17件の応募がありました。

この17件の応募研究を高校生らしいユニークな視点があるかなどを基準に、厳正な審査を行いました。全体として、研究分野は生物・化学・工学など多岐にわたり、新鮮な視点と着想から身近な現象をテーマにした内容が多くありました。また、専門家が選びがちな難しい研究手法ではなく、同じ高校生が参考にしやすい工夫がありました。

審査の結果、入賞8件、なかでも、特に優秀であると判断した2演題に学長賞並びに学部長賞、そして、審査員特別賞1演題を選考しました。

◆学長賞◆

校内に生息するウシガエルの食性調査と実習庭園に生息する生物の展示

鈴木 琉也（大阪府立園芸高等学校）

◆学部長賞◆

野菜に含まれるβカロテン量を瞬間的に高める条件の研究

上甲 莉沙，宮本 凜，上笹 莉子（愛媛県立松山南高等学校）



◆審査員特別賞◆

微生物の力で大豆の成長を促進できるのか？

黒沢 愛佳（群馬県立高崎女子高等学校）

◆入賞◆

納豆菌で地球を救えるのか？ ～ダンボールコンポストで生ゴミの分解を促進するために～

桑山 明己（群馬県立前橋東高等学校）

三間町の田んぼ環境調査

玉川 諒征, 丹下 聖士, 藤堂 大空, 安岡 慎之助(愛媛県立宇和島東校高等学校)

“石鎚黒茶”の科学的な分析 ～美味しく健康的に飲むために～

真木 海翔, 菅 琉斗, 藤田 恵澄, 宮原 大和(愛媛県立西条高等学校)

イチョウの食品保存能力についての研究

弓立 琉晟, 稲田 鉄生, 河野 和真, 渡邊 藍子(愛媛県立松山南高等学校)

選択的除草とアレロパシーを利用したバタフライガーデンづくり

松口 歩佳, 薩摩 祐太, 遠近 深空, 松本 桃佳(大阪府立園芸高校)



学長賞 鈴木琉也さん（大阪府立園芸高等学校）



審査員特別賞 黒沢愛佳さん（群馬県立高崎女子高等学校）



学部長賞 上甲莉沙さん・宮本凜さん・上笹莉子さん（愛媛県立松山南高等学校）

### (3) 本学農学部と富岡実業高等学校との連携協定について

令和4(2022)年10月31日(月)に高崎健康福祉大学農学部と群馬県立富岡実業高等学校との高大連携事業に関する連携協定の調印式が執り行われました。

本協定は高校生が自らの視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学が求める学生像及び大学の教育内容への理解を深めるために、かつ高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的としています。

#### 高大連携事業の内容

- (1) 本学教員による高校への講師派遣
- (2) 本学の授業および各種講座への生徒の受け入れ
- (3) 本学が実施する高大接続教育への高校の支援
- (4) 相互が実施する課外活動などにおける交流活動の実施

調印式では本学 大政学部長、富岡実業高等学校 高橋康校長から本連携協定によって、今後の教育活動におけるさらなる発展に期待を込めたあいさつが行われました。

本連携協定を通じて、高校生が自らの視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学が求める学生像及び大学の教育内容への理解を深めることで、高校教育・大学教育の活性化を図っていきます。

#### (4) 群馬県との連携協定による農学部セミナーが開催されました

学生の資質向上と公務員への就職説明会として、農学部セミナーを開催しました。

開催日：令和4（2022）年11月9日（水）

講師：群馬県倉澤農政部長

内容：当日は1年生を中心に81名が参加し、講師のお話「求む！群馬県農業の応援団員！」の後、質疑応答が行われました。学生からは「これから生産の伸びる農畜産物の種類や今後の農畜産物の輸出額」に関する質問が出されました。

また、本セミナーの共同主催者であるキャリアサポートセンター（CSC）からは、CSCの紹介が行われ、早い段階からのCSCの利用と次年度開講される公務員対策講座への受講が促されました。



#### (5) 令和4年度地域農福連携 農作業ワークショップが開催されました

令和4(2022)年11月11日(金)に群馬県西部農業事務所主催の「令和4年度地域農福連携農作業ワークショップ」が高崎健康福祉大学農学部で開催されました。

ワークショップは作物学研究室 岡部繭子准教授を講師とし、講義室における除草の基本技術に関する講演と農場での除草作業体験、意見交換が実施されました。



**(6) JA 群馬中央会からゲストスピーカーをお招きしました**

令和4(2022)年11月16日(水)の「現代農業事情」(1年生開講科目)に、JA 群馬中央会からゲストスピーカーをお招きして、JA の役割や事業・活動についてご講演いただきました。ご講演の後は質疑応答を行い、熱心に質問をする学生もいました。

なお、今回の講義はJA グループ群馬との相互連携協力の推進に係る協定に基づき、JA 群馬中央会のご協力により実施されました。

日時：令和4(2022)年11月16日(水) 9:00~10:30

場所：10号館 201 講義室

内容：「JA(農業協同組合)の役割とは」

講師：JA ぐんま研修センター(JA 群馬中央会 JA 経営支援部) 齋藤 尚登 氏


対象：「現代農業事情」(1年生必修)受講生 88名



授業の様子(11月16日)

## (7) 附属農場活動報告

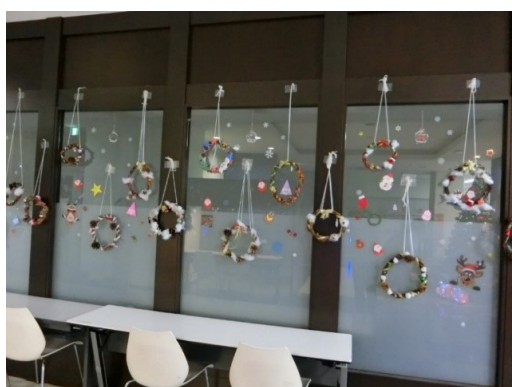
### 1. お米をフードパントリー事業に提供しました

令和4(2022)年11月21日(月)に農学部附属農場産の新米100キログラムを、高崎市内で地域支援活動に取り組む「地域の居場所 よっちゃん家  井野川」様(代表:池田優子氏(前・本学看護学科長))に提供しました。提供したお米は12月以降、生活にお困りの方を対象としたフードパントリー事業で配布されます。



(作物学研究室・廣瀬竜郎)

### 2. 子ども教育学科と協力してのクリスマスリース作成に取り組みました



作物園芸実習Ⅱで農学部2年生が栽培・収穫したサツマイモのつるを利用し、作物学研究室学生がクリスマスリースを作成しました。そのリースに、子ども教育学科1年生がデコレーションしてくれたものが、8号館エントランスのクリスマスオーナメントとなりました。本企画は、子ども教育学科 岡本拡子教授、今井邦枝教授と農学部 岡部繭子准教授が中心となり、取り組みました。



## 第5回評議員会報告(2023/02/17)

### (1) 令和4年度 農学部キャリアサポート委員会活動

農学部では、キャリアサポートセンターにご協力いただき、3年生向けに下記の就職講座を企画・開催しました。

#### 【R4 農学部就職講座⑧】

日時：令和5(2023)年1月11日(水)

14:45~16:15

場所：10号館201講義室

内容：「自分に合う企業を見つけるための  
企業研究講座」

講師：提携している外部講師

参加者：学生49名



(1月11日の様子)

#### 【R4 農学部就職講座⑨】

日時：令和5(2023)年2月3日(金)

14:45~16:15

場所：10号館201講義室

内容：「就活準備総まとめ講座」

講師：提携している外部講師

参加者：学生66名

3年生  
院1年生  
対象

対面  
特典あり

農学部生限定\*就職ガイダンス

理系目標を踏まえた  
**就活準備総まとめ講座**

**2月3日 金 14:45-16:15**

\*PICK UP\*セミナー  
「この1か月が分かれ道！やるべきことがわかる90分」  
講師は元人事のマイナビ講師。コロナ禍における就活対策のほか、  
「全然準備が進んでいない！」と不安でいっぱいの方に、  
残り1か月の過ごし方について詳しくレクチャーします。

会場 10号館201講義室 ※持ち物 PC・スマートフォン・タブレット端末など

予約  
特典 予約リストに登録した方にスーパーハードホルダーを  
プレゼント！

■スーパーハードホルダー■  
\*毎日1冊ずつプレゼント65冊\*  
\*同じような企業をターゲットにプレゼント\*  
※向企業別冊 数量と収録！1冊27巻！

主催：宮崎健康福祉大学  
キャリアサポートセンター 協力：マイナビ2024

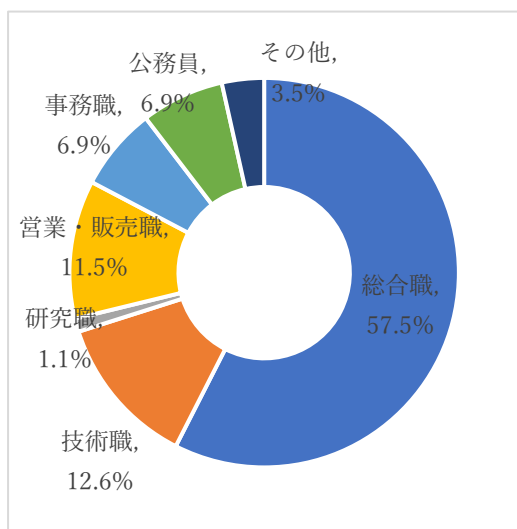
(2月3日の告知チラシ)

#### 4年生の就職状況報告

農学部4年生（令和5年3月卒業予定者数）：95名

うち、就職希望者数：87名、進学希望者数：6名、その他：2名

- ・官公庁...群馬県庁(5名)、埼玉県警察(1名)
- ・協同組合等...前橋市農業協同組合(3名)、佐波伊勢崎農業協同組合(2名)、JA 東日本くみあい飼料、あさか野農業協同組合、佐野農業協同組合、那須野農業協同組合
- ・農業・林業...林牧場(2名)、カネコ種苗、森産業、グリーンリーフ、上野村森林組合、森林環境コンサルタント、アルプスアグリキャリア(2名)、イオンアグリ創造、ホーネンアグリ、新田農場、クロサワファーム、酒見緑化園
- ・流通・小売・外食...ツルヤ(3名)、ベイシア(2名)、とりせん(2名)、ファームドゥホールディングス、ヤオコー、ベルク、木徳神糧、ジェムコ、ブリヂストンタイヤ高崎販売、ヤマダデンキ、和光化学、富士薬品、マルエツ、ライフコーポレーション、日本レストランシステム、オーシャンシステム、コスモス薬品
- ・製造業（食料品）...群馬県食肉卸売市場(4名)、原田(2名)、新進物産、シマダヤ、ハナマルキ、マック食品、富士食品工業、キューピー、美勢商事、にしき食品、秋田屋本店
- ・製造業（その他）...マチダコーポレーション、ユー・コーポレーション、ビット、電気興業、誠和、新日本製薬
- ・その他...WDB エウレカ社、上越観光開発、藤井経営、冬木工業、むさしの村、環境技研、エイジェック(2名)、エスアールエス、ディップ、アウトソーシング、エコーパートナーズ、サカイ引越センター、コボルポート、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- ・大学院... 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学、高崎健康福祉大学大学院農学研究科(5名)



(2) 令和4年度農学インターンシップ報告会を開催します

発表時間は5分を予定しています。

日時：令和5(2023)年2月20日(月)13:00~15:55

場所：農学部2階202、203講義室

A会場プログラム予定表 202講義室		
発表時間(予定)	実習受入先	実習参加者数
13:05-13:10	群馬県農業技術センター(園芸部野菜第2係・野菜第3係)	2名
13:10-13:15	群馬県農業技術センター(園芸部果樹係)	1名
13:15-13:20	群馬県農業技術センター(環境部発生予察係)	1名
13:20-13:25	群馬県農業技術センター(環境部病害虫係)	1名
13:25-13:30	群馬県水産試験場	1名
13:30-13:35	群馬県畜産試験場	2名
13:35-13:40	群馬県環境森林部	2名
13:40-13:45	高崎弁当株式会社	1名
13:45-13:50	JAたかさき	3名
13:50-13:55	JA前橋市	2名
13:55-14:00	JAあがつま	2名
14:00-14:05	JA邑楽館林	2名
14:05-14:10	JA太田市	2名
14:10-14:15	JA甘楽富岡	2名
14:15-14:20	JA佐波伊勢崎	4名
14:20-14:25	JAにったみどり	2名
14:25-14:30	榛名酪農業協同組合連合会	2名
14:30-14:45	休憩	
14:45-14:50	群馬県食肉卸売市場	2名
14:50-14:55	タマムラデリカ株式会社	3名
14:55-15:00	がってん野菜合同会社	3名
15:00-15:05	株式会社いちごの里ファーム	3名
15:05-15:10	株式会社いちご畑	2名
15:10-15:15	株式会社noca パクチーシスターズ	1名
15:15-15:20	中西ファーム	1名
15:20-15:25	株式会社ファーマーズトラスト	3名
15:25-15:30	公益財団法人神津牧場	1名
15:30-15:35	Fresh Berry	3名
15:35-15:40	有限会社滝沢牧場	6名
15:40-15:45	亙理町イチゴ農家	1名
15:45-15:50	一般社団法人群馬県薬剤師会環境衛生試験センター	2名



B会場プログラム予定表 203講義室		
発表時間(予定)	実習受入先	実習参加者数
13:05-13:10	遠藤食品株式会社	1名
13:10-13:15	株式会社大利根漬	3名
13:15-13:20	株式会社旅がらす本舗	3名
13:20-13:25	株式会社たむらや	4名
13:25-13:30	株式会社富岡食品	3名
13:30-13:35	株式会社みまつ食品	3名
13:35-13:40	群馬製粉株式会社	1名
13:40-13:45	正田醤油株式会社	2名
13:45-13:50	聖徳銘醸株式会社	2名
13:50-13:55	上毛食品工業株式会社	1名
13:55-14:00	ハナマルキ株式会社 大利根工場	3名
14:00-14:05	美峰酒類株式会社	2名
14:05-14:10	森産業株式会社	2名
14:10-14:15	有限会社ブラウンエッグファームちやたまや	1名
14:15-14:20	有限会社永田バイオ研究所	1名
14:20-14:25	カネコ種苗株式会社	2名
14:25-14:30	株式会社エバーグリーン富士見	3名
14:30-14:45	休憩	
14:45-14:50	株式会社ぐんたねファーム	2名
14:50-14:55	太田市役所長寿あんしん課	1名
14:55-15:00	国立大学法人宇都宮大学	1名
15:00-15:05	諏訪広域消防署	1名
15:05-15:10	岡谷商工会議所	1名
15:10-15:15	株式会社環境技研	3名
15:15-15:20	株式会社ケア環境研究所	2名
15:20-15:25	株式会社 上越観光開発	7名
15:25-15:30	株式会社蛋白精製工業	2名
15:30-15:35	公益財団法人群馬県健康づくり財団	2名
15:35-15:40	藤田ソリューションパートナーズ株式会社	2名

### (3)「高校生論文コンテスト 2022」について（結果報告）

高崎健康福祉大学農学部アグリビジネス研究室

令和4（2022）年7月1日から9月5日までを募集期間として、「高崎健康福祉大学 高校生論文コンテスト 2022」を開催しました。今年度は、論文テーマを「SDGsで協調する社会—私たちにできること—」とし、全国から347点のご応募をいただきました。

この度、厳正な審査を行って下記のとおり各賞を決定し、表彰式は令和4（2022）年12月21日にZoomによるオンライン形式で開催しました。

#### ◆学長賞◆

加藤 彩穂・今野 寿々奈（岩手県立釜石高等学校3年）  
「釜石高校におけるオンライン教育の導入」



石田朋靖 学長

#### ◆優秀賞◆（五十音順）

屋井 姫詩・龍 麻央（鹿児島県立大島高等学校2年）  
「奄美の現状から学ぶチーム医療の重要性」  
川村 寛太郎（立命館慶祥高等学校3年）  
「実践する外来種食」



学長賞 加藤彩穂さん・今野寿々奈さん  
（岩手県立釜石高等学校3年）

#### ◆学校賞◆（五十音順）

岡山龍谷高等学校  
鹿児島県立大島高等学校  
群馬県立伊勢崎興陽高等学校  
群馬県立中央中等教育学校  
桜丘高等学校  
高崎健康福祉大学高崎高等学校



優秀賞 屋井姫詩さん・龍麻央さん  
（鹿児島県立大島高等学校2年）



優秀賞 川村寛太郎さん  
（立命館慶祥高等学校3年）

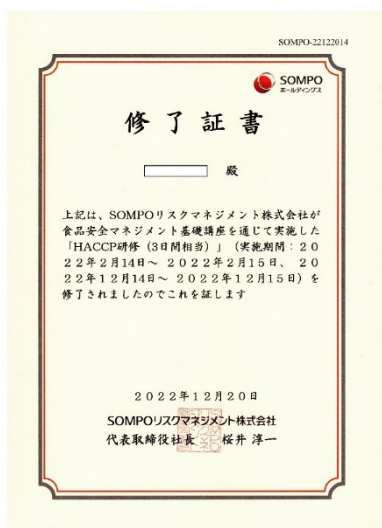
#### (4) 食品安全マネジメント基礎講座の実施

農学部生物生産学科では、令和4（2022）年12月14日および15日に、フードサイエンスコースの4年生を対象に食品安全マネジメント基礎講座（補講）を開催しました。本講座は、HACCPによる衛生管理を主眼に置いた食品安全専門人材育成の観点から昨年度実施したもので、現4年生を対象に開催されました。

研修会の講師は、SOMPO リスクマネジメント株式会社 危機管理コンサルティング部 食品安全チームリーダー 上席コンサルタントの佐川一史氏らにお越しいただき、グループワーク中心の演習形式で進行していただきました。SOMPO リスクマネジメント社は、国際標準に整合する食品安全マネジメント規格や認証スキームを構築、運営している（一財）食品安全マネジメント協会の会員であり、企業等でHACCPによる衛生管理の研修を専門的に実施している機関です。本講座については、本来は3日間で行う研修ですが、昨年度は、HACCPに関する演習など初心者である学生のことを考慮した結果、集約して2日間で開催していただきました。しかし、学生からは、2日間の研修では協会が認定する修了証書を発行してもらえないため、通常の3日間コースを受けてみたかったとの意見も少なからず聞かれました。そこで、今年度はSOMPO リスクマネジメント社との交渉により、昨年受講した学生に対して1.5日間の補講研修により修了証を発行していただけることになりました。

研修自体は昨年同様に行われ、内容が若干複雑・高度化しましたが、昨年度以上に積極的な討論を伴ったグループワークにより、学生たちは安全な食品を製造するためのしっかりしたHACCPプランを構築していました。講師からは、学生は非常に良い視点で食品の安全性について捉えているとの講評をいただきました。受講した学生からは、是非とも食品業界を目指す後輩に受講してもらいたい講座であるとのアンケート回答が得られました。

以上のことから、今後も継続して実施すべき研修であると考えられました。また、本研修の修了証書は、食品関係の就活の際には非常に有利に働くと考えられますので、今後は、3年次などもっと早い時期に開催することや、対象者の拡大も検討しています。



	1日目	2日目
	12月14日 13:00～17:00	12月15日 9:00～17:00
対象者	前年度の研修を受けた4年生の希望者	
参加人数	14名	
研修内容	エビフライを製造する食品工場を想定して、各班でイメージした製造工場における危害分析および重要管理点の検討	

**(5) 群馬テレビが農学部を取り上げました**

番組：JA みどりの風

テーマ：最先端農業を学ぶ!高崎健康福祉大学農学部～JA 群馬中央会～

放送日：2023年1月30日（月）21:00～21:30

再放送：2023年2月5日（日）8:00～8:30

放送内容：高崎健康福祉大学農学部でICTなど最先端技術を取り入れた農業を学ぶ  
学生たちを紹介。農業の課題解決に取り組み、これからの農業を支える若い力  
に迫ります。（番組サイトより）

## 第6回評議員会報告（2023/03/24）

### （1）令和4年度 農学部キャリアサポート委員会活動

#### 【農学部主催 企業説明会】

群馬県食品工業協会および群馬県農業法人協会にご協力いただき、群馬県内の食品・農業関連企業20社の合同企業説明会を開催しました。各企業の採用担当者の方にご来学いただき、企業の業務説明と学生との個別面談を実施していただきました。当日は、39名の学生が参加し、業務内容や採用情報等について、説明・質疑が行われました。

日時：令和5（2023）年3月8日（水）13:00～16:30

場所：農学部棟10号館2階201～206講義室

内容：群馬県内の食品・農業関連企業が参加する合同企業説明会

主催：高崎健康福祉大学農学部

1. アース環境サービス株式会社 <sup>*1</sup>	11. 株式会社新進 <sup>*1</sup>
2. 株式会社大利根漬 <sup>*1</sup>	12. 有限会社高崎クエイル <sup>*2</sup>
3. 株式会社久保田農場 <sup>*2</sup>	13. 高山麵業株式会社 <sup>*1</sup>
4. グリンリーフ株式会社 <sup>*1</sup>	14. 株式会社登利平 <sup>*1</sup>
5. ぐんま県央青果株式会社 <sup>*1</sup>	15. 有限会社農園星ノ環 <sup>*2</sup>
6. 有限会社グルメフレッシュ・フーズ <sup>*1</sup>	16. 有限会社ノームランド高橋 <sup>*2</sup>
7. 農事組合法人 元気ファーム20 <sup>*2</sup>	17. ハナマルキ株式会社 大利根工場 <sup>*1</sup>
8. 下仁田ミート株式会社 <sup>*2</sup>	18. 有限会社ビクトリー <sup>*2</sup>
9. 正田醤油株式会社 <sup>*1</sup>	19. 株式会社ペヤングホールディングス <sup>*1</sup>
10. 株式会社昭和食品 <sup>*1</sup>	20. ロイヤルデリカ株式会社 <sup>*1</sup>

\*1 群馬県食品工業協会（13社）

\*2 群馬県農業法人協会（7社）



企業説明会の様子（3月8日）

## (2) 農学インターンシップ実習報告会が実施されました

令和4年度農学インターンシップ実習報告会を実施しました。選択科目「農学インターンシップ」を受講した3年生が、県内外の農業法人や食品メーカー、公的機関、JAなど、51か所の実習先での実習の内容などを紹介しました。来年度インターンシップを受ける2年生の他、受け入れ先の企業関係者、そして農学部教員が聴講しました。実習生全員が壇上に上がり、代表者が口頭発表しました。教員や下級生からの質問には、実習生全員で答えました。また新型コロナウイルス感染症対策等で来学できなかった受け入れ企業関係者のため、発表会の模様をオンラインで配信しました。

3年生にとって、実際の企業・団体での就業体験を通じ、仕事や業界、社会への理解と関心を高める機会となりました。2年生にとっては来年度のインターンシップに向けて情報を入手する良い機会となりました。

日時：令和5（2023）年2月20日（月）13:00～16:00

場所：農学部10号館202・203講義室

参加者数：学生116名（3年生68名、2年生48名）、教員17名、企業7社の関係者11名



口頭発表の様子1



口頭発表の様子2(質疑応答)



口頭発表に耳を傾ける参加者



休憩中に受け入れ先にご挨拶

### (3) 2023 春のオープンキャンパスが開催されました

令和 5 年（2023）年 3 月 11 日（土）に春のオープンキャンパスが開催されました。農学部には、高校生・専門学校生 33 名（同伴者除く）にご参加いただきました。希望に分かれて参加する後半プログラムには、個別相談が 7 名、農場見学が 16 名、ラボ見学が 18 名、延べ 41 名が参加されました。



模擬授業の様子



農場見学の様子



ラボ見学の様子



在学生によるコース紹介の様子

#### ※農学部来場者 アンケート（自由記述欄）

- ・高崎健康福祉大学農学部では、花の研究をすることは出来ますか？イチゴの糖度・硬度の比較実験とても楽しかったです。勉強になりました。
- ・色々見れて良かったです。ありがとうございました。
- ・実際に目にする事で、具体的にイメージしやすかったです。ありがとうございました。
- ・皆さん、ご親切に案内して頂き、とても有難かったです。
- ・模擬授業は実験があったり、イチゴの品種のことができてよかった。個別相談も詳しく話を伺えてよかった。

## 10. 生物生産学科ホームページ News & Topics

\*農学部セミナー、外部との連携協定及び大学評議員会報告と重複のない記事を以下に示す。

### 新入生オリエンテーションを実施しました(2022/4/12)

2022年4月7日(木)に新入生オリエンテーションを実施しました。新入生オリエンテーションは、新型コロナウイルス感染予防のため中止となったフレッシュマンキャンプの代替として行っている交流イベントになります。

新入生オリエンテーションの始めには、1年生に各自20秒ほどで簡単な自己紹介をしてもらいました。出身や趣味、高校時代のエピソードなど、自身のことを話してもらいました。その後、農学部3年生の学生スタッフによる大学生活の紹介を行いました。講義の受け方や大学の生活リズムなど3年生の実際の体験を聞いてもらいました。最後に、小グループに分かれての交流会を行いました。交流会では3年生も交え、履修の相談や簡単なゲームを行い、親睦を深めました。全体として笑い声にあふれ、和やかな雰囲気でのオリエンテーションを行うことができました。



### 令和四年度 農学部優秀学生表彰を行いました(2022/4/15)

令和4年4月8日(金)に、農学部優秀学生表彰の表彰式が行われました。優秀学生表彰制度は、学習に励み優秀な成績を収めた学生などを表彰する制度で、今年度の農学部からは青木大知さんが選ばれました。優秀学生の青木さんには、学部長の大政謙次教授から賞状と副賞が授与されました。青木さん、おめでとうございます。



### JA グループ群馬より学生へ県産米が贈られました(2022/4/20)

令和4年4月19日(火)に本学において、県産米「利根きらり」贈呈式が行われました。JA グループ群馬と本学は次世代型人材育成や地域活性化などに関する連携協定を締結



しています。新学期を迎える大学生の食生活を応援する取組みとして、学生へ群馬県産コシヒカリ「利根きらり」レンジアップご飯が贈呈されました。



#### 農学部2年生によるパイ(スイーツ)作りが始まります(2022/5/12)

令和4年5月10日(火)発行の上毛新聞に、学生によるパイ(スイーツ)作りの記事が掲載されました。これは、農学部2年生の有志(10名前後)と、高崎市内に店舗を構えるセレンディップ、JAたかさきの3者で新しいパイを開発・販売しようとするものです。6月から開発を始め、10月に発売開始、11月まで販売する予定です。

#### 農作業安全講習を実施しました(2022/5/27)

令和4年5月26日(木)、群馬県農政部の担当官を招へいして、農場実習時における学生の農作業事故を防止するため、農作業安全講習を実施しました。当日は農学部2年生66名と教職員2名の計68名が参加し、講師のお話の後、質疑応答がなされました。今年度は学生から多くの質問が出され、これまでにない盛り上がった農作業安全講習となりました。今年度の作物園芸実習が始まって一ヶ月、事故のない農場実習を願うばかりです。



#### パイ(スイーツ)作り始めました(2022/6/1)

令和4年5月31日(火)、農学部会議室に関係者が参集して、第1回打合せが行われました。当日は本企画に応募してくれた2年生8名、JAたかさきから2名(1名は県の麦育種の専門家)、セレンディップから2名の計12名が参加しました。初めに参加者全員に自己紹介をいただき、続いてセレンディップからパイに関して詳しいお話をいただきま

した。JA たかさきからは群馬県産小麦の加工特性と小麦粉の加工用途ならびにパイの具になりそうな地場野菜の紹介がありました。最後に、セレンディップ製のプリンをいただきながら、リーダー・サブリーダーの選定、次回開催日の決定ならびにグループラインを設定して、第1回目の打合せを終了しました。



#### いちご狩りをしました(2022/6/2)

令和4年6月1日(水)、本学子ども・家族支援委員会主催のいちご狩りを、附属農場のスマートグリーンハウスで行いました。

当日は4家族6名のお子さんご父兄、計11名が参加されました。最初に気を付けて欲しいことを伝え、いざ温室内に案内すると、一目散にいちごに向かって行かれました。最初は1家族1パックの予定でしたが、中には2パック、3パックと収穫されたご家族もみえました。両手にいちごをしっかりと握りしめて、見せに来てくれたお子さんもいました(つぶれて汁が垂れていましたが)。最後に温室の入り口で記念撮影をして、解散しました。

番外編として、農場に植わっている桑の実“ドドメ”も収穫していただきました。昔を思い出した人、初めて見た人、様々でした。



#### 「農学はワクワクする分野」という農学部の記事とドローン教室の開設認定について (2022/6/6)

5月25日付の教育学術新聞に、大政学部長の「農学はワクワクする分野」というインタビュー記事が掲載されました。発行元(日本私立大学協会)のご厚意により記事を掲載させていただきます。

記事はこちら (<https://www.takasaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/622bf2a610e248f021c97b7b56b5fbc7.pdf>)

また、6月1日付で、国土交通省航空局のホームページに、高崎健康福祉大学が、ドローンの講習団体として公表されました。航空局ホームページに掲載されている無人航空機の操縦者に対する講習等を実施する団体はこちら

(<https://www.mlit.go.jp/common/001220070.pdf>)



### 橋田庸一助教の研究成果が Plant Cell & Environment 誌に掲載されました(2022/6/17)

作物学研究室の橋田庸一助教が龍谷大学・慶應義塾大学の永野惇教授らと行った研究が Plant Cell & Environment 誌に掲載されました。野外と実験室における植物の違いを、分単位で光強度と温湿度の制御が可能な SmartGC (写真) という人工気象器と、全遺伝子がどれだけ働いているかを測定するトランスクリプトーム解析から明らかにしたものです。

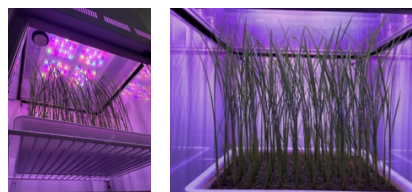
掲載情報

論文タイトル : Fillable and Unfillable Gaps in Plant Transcriptome under Field and Controlled Environments

雑誌 : Plant Cell & Environment

(オンライン版 2022 年 5 月 24 日)

URL : <https://doi.org/10.1111/pce.14367>



### 高崎健康福祉大学パートナーシップ・プログラム「ドローンの操縦を学ぼう！」を実施しました(2022/6/17)

6月13日、14日の2日間において、高崎健康福祉大学高崎高等学校から高校生4名(3年生と2年生が2名ずつ)が参加し、パートナーシップ・プログラム「ドローンの操縦を学ぼう！」が実施されました。

このプログラムは高大連携事業であり、高校生が大学での授業を体験し、大学教員から実際に学ぶことによって、大学での学びを知り、大学への進学や将来のキャリアを考えるきっかけを作るものです。

10号館2階の教室や5階の研究室において、農学部生物生産学科・4つのコース、ドローンの農業への利用、ドローン飛行時のルールの説明を聞き、そしてドローンの操縦法を学びました。そしてパソコン室にて、ドローンのフライトシミュレータを体験した後、実際にドローンを飛行させました。

高校生から、授業の感想として、大学進学への意欲やドローンへの興味が増したことを伝えられ、パートナーシッププログラムの目的に沿った授業をおこなうことができました。



#### 農学部保護者会を開催しました(2022/6/22)

2022年6月18日(土)に農学部の保護者会を開催しました。今年度の保護者会も対面とオンライン(ZOOM)の併用で行い、対面で45名、オンラインで39名の保護者の方にご参加いただきました。保護者会の内容として、新型コロナウイルス感染症に対する本学の取り組みや教育課程の内容、インターンシップ実習、就職活動のサポート、学生生活や大学院への進学等についてご説明しました。保護者会終了後は希望者を対象にキャンパス見学を行い、各教室や学生実験室を案内しました。更に、希望される方にはアドバイザー教員による個別相談も行いました。



#### 群馬県立西邑楽高等学校の生徒さんに模擬実験を実施しました(2022/6/27)

令和4年6月22日(水)に、群馬県立西邑楽高等学校の生徒さんを対象として、農学部説明、模擬実験(遊びで学ぶSDGs)、施設見学を実施しました。すごろくを使いながら、SDGsの17のゴールについて楽しく学びを深めていました。



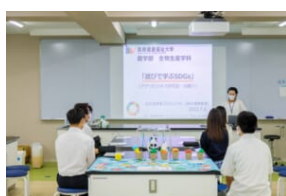
### 高崎健康福祉大学 広げる未来プロジェクトを実施しました(2022/7/11)

令和4年7月2日(木)に、健大高崎高校を含む近隣の高校生を対象とした高大連携事業である「高崎健康福祉大学広げる未来プロジェクト」として、本学科の教員が下記の通り講義を行いました。

#### 実施内容

「遊びで学ぼう SDGs」(谷 顕子)

国際連合広報センターが作成したSDGs すごろく「Go Goals」を用いて、楽しみながら人間社会が直面する諸課題について学びました。参加した生徒は、クイズ形式になった現代社会の問題について考えることで「持続可能な開発」の17の目標の意味について深く学ぶ機会となりました。



### 企業説明会を開催しました(2022/7/18)

令和4年7月14日(木)、群馬県農業法人協会加盟の会社による企業説明会を開催しました。当日は7社のご参加をいただき、農業法人協会の会長様のご挨拶、農業法人協会のご説明、ならびに各社からの自己紹介をいただきました。その後各ブースに分かれ、学生と面談していただきました。

参加した学生は作物園芸システムコースを中心に35名で、20分ごとに4社を訪問できるシステムを取ったところ、2/3の学生が最後まで情報収集に努め、関心の高さが伺われました。今回は4年生を対象にした企業説明会でしたが、次回は3年生を対象にした企業説明会を年度内に実施する予定でいます。



### FM 群馬の番組に学生が出演します(2022/8/1)

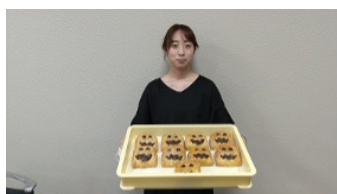
FM 群馬の番組「POTLUCK」に、農学部が主催する自由研究コンテストを紹介するため、本学の学生が出演します。

放送日時： 8月9日(火) 17:10頃~10分間程度

紹介テーマ：高崎健康福祉大学農学部「高校生自由研究コンテスト」をご紹介します！

### コラボパイ(スイーツ)出来ました(2022/9/1)

本年5月末から検討してきましたパイ(スイーツ)の概要が決まり、8月23日に試食しました。これは本学部2年生の有志8名が企画し、JAたかさき管内の食材を使って、市内にある Serendip(セレンディップ)が製品化するというコラボ事業です。今夏の降ひょうで被害を受けたカボチャを餡として使用します。名付けて「和風パンプキンパイ」。今後若干の修正を加えて秋から販売開始です。それに向けて、大学のホームページや掲示板への掲載等行っていきますので、ご理解・ご協力をお願いします。



### スマート農場の取り組みが国際誌の表紙で紹介されました(2022/9/9)

農学部や、スマート農場が International Journal of Agricultural and Biological Engineering の最新号の表紙で紹介されました。また、本学のスマート農場の試みが overview articles として掲載されました。論文では、スマート温室や、圃場でのスマート農業の取り組みについて論じられています。

掲載情報

タイトル：

Plant functional remote sensing and smart farming applications

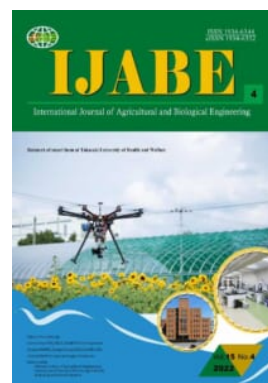
雑誌：

International Journal of Agricultural and Biological Engineering

掲載サイト：

<https://www.ijabe.org/index.php/ijabe/article/view/7883/2678>

<https://www.ijabe.org/index.php/ijabe/article/view/7375>



#### 農学部企業説明会を開催しました(2022/10/4)

令和4年9月30日(金)に本学農学部において、カネコ種苗株式会社の企業説明会を201講義室で開催しました。会社概要や事業内容、採用情報などについて詳しくお話していただき、全体説明の後には活発な質疑応答が行われました。当日、32名の学生が参加しました。



#### 令和4年度キャリアアップ講座を開催しました(2022/10/13)

令和4年10月7日(金)に、令和4年度農学部キャリアアップ講座を開催しました。講師には、カネコ種苗株式会社くさだ育種農場部長 兼 育種第5グループリーダーの星野健一氏をお招きして、「育種家(プラントブリーダー)を目指す皆さんへ」という題目でご講演いただきました。52名の学生が参加し、メモを取りながら熱心に聴講していました。



#### 高校専門教育研修講座が開かれました(2022/10/17)

令和4年10月13日(木)、群馬県教育委員会主催の高校専門教育研修講座が10号館ならびに附属農場で行われました。当日は県内の高校等から農業科担当教職員等8名が参加しました。昨年までは座学が中心でしたが、実験も実施して欲しいという先方の要望に応え、「PCRによるイネの品種識別」を行いました。講師は作物学研究室の廣瀬教授と

橋田助教が務めました。また、実験の空き時間には、園芸研究室の荒木教授が農学部の概要と館内の講義室や実験室ならびに附属農場のスマートグリーンハウスを紹介しました。



#### 令和4年度第1回農学部セミナーを実施しました(2022/11/14)

令和4年11月9日(水)、群馬県農政部の倉澤部長を招へいして、学生の資質向上と公務員への就職説明会として、農学部セミナーを開催しました。

当日は1年生を中心に81名が参加し、講師のお話「求む！群馬県農業の応援団員！」の後、質疑応答が行われました。学生からは「これから生産の伸びる農畜産物の種類や今後の農畜産物の輸出額」に関する質問が出されました。

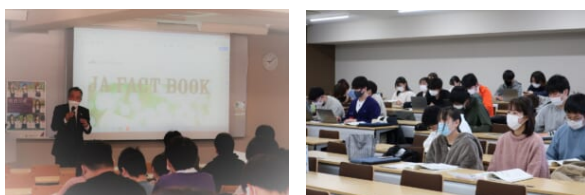
また、本セミナーの共同主催者であるキャリアサポートセンター(CSC)からは、CSCの紹介が行われ、早い段階からのCSCの利用と次年度開講される公務員対策講座への受講が促されました。



#### JA群馬中央会からゲストスピーカーをお招きしました(2022/11/16)

令和4年11月16日(水)の「現代農業事情」(1年生開講科目)に、JA群馬中央会からゲストスピーカーをお招きして、JAの役割や事業・活動についてご講演いただきました。ご講演の後は質疑応答を行い、熱心に質問をする学生もいました。

なお、今回の講義はJAグループ群馬との相互連携協力の推進に係る協定に基づき、JA群馬中央会のご協力により実施されました。



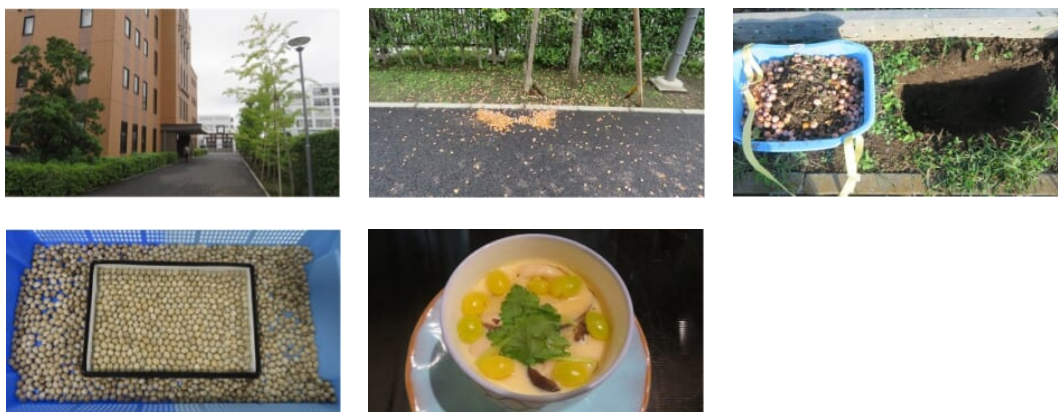


### 農学部産ギンナンが茶碗蒸しになりました(2022/12/5)

農学部開設時に街路樹として植えられたイチョウの木に、今年初めてギンナンがなりました。9本あるイチョウの中で、わずか1本だけに実を着けました。ご存じのようにイチョウは雌雄異株ですから、今のところこの木だけが雌株と思われます。時あたかも最初の入学生が卒業する年。まるで実りある活躍を願うかのように。

早速収穫して、深さ30cm位の穴を掘って土に埋めました。待つこと1ヶ月。再び掘り出して、高圧洗浄機で残った果皮を吹き飛ばしてから、天日で乾燥。軽量すると、全部で1,373個の1,236gで、1個当たり0.9gでした。市販のギンナンはだいたい2~3gなので、まだまだ赤ん坊。今後の成長を見守っていきたいと思います。

収穫したギンナンは茶碗蒸しにして食べましたが、小さいながらも獲れたての風味と食感を宿していました。



### 農学部附属農場のお米をフードパントリー事業に提供しました(2022/12/7)

令和4年11月21日(月)に農学部附属農場産の新米100キログラムを、高崎市内で地域支援活動に取り組む「地域の居場所 よっちゃん家 井野川」様(代表:池田優子氏(前・本学看護学科長))に提供しました。提供したお米は12月以降、生活にお困りの方を対象としたフードパントリー事業で配布されます。



## 高校生論文コンテスト 2022 審査結果(2022/12/15)及びオンライン表彰式(2023/1/19)

令和4(2022)年7月1日から9月5日までを募集期間として、「高崎健康福祉大学高校生論文コンテスト2022」を開催し、全国から347点のご応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。

この度、審査委員会による厳正な審査を行い、下記のとおり学長賞1件、優秀賞2件、学校賞6件が選考されました。受賞論文の概要と、審査過程で高評価となったポイントについては、講評(以下のURL)をご覧ください。

<https://www.takasaki-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/050622e94c051321f39f64b40b93e949.pdf>

### ◆学長賞◆

加藤 彩稔・今野 寿々奈(岩手県立釜石高等学校3年)

「釜石高校におけるオンライン教育の導入」

### ◆優秀賞◆(五十音順)

屋井 姫詩・龍 麻央(鹿児島県立大島高等学校2年)

「奄美の現状から学ぶチーム医療の重要性」

川村 寛太郎(立命館慶祥高等学校3年)

「実践する外来種食」

### ◆学校賞◆(五十音順)

岡山龍谷高等学校 鹿児島県立大島高等学校 群馬県立伊勢崎興陽高等学校  
群馬県立中央中等教育学校 桜丘高等学校 高崎健康福祉大学高崎高等学校

本論文コンテストの表彰式は、令和4(2022)年12月21日にZoomによるオンライン形式で開催しました。たくさんのご応募、ありがとうございました。



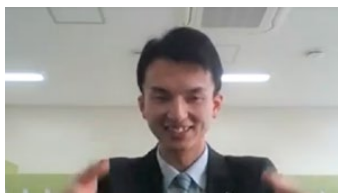
石田朋靖 学長



学長賞 加藤彩稔さん・今野寿々奈さん  
(岩手県立釜石高等学校3年)



優秀賞 屋井姫詩さん・龍麻央さん  
(鹿児島県立大島高等学校 2年)



優秀賞 川村寛太朗さん  
(立命館慶祥高等学校 3年)

令和4(2022)年12月15日、令和5(2023)年1月16日  
高崎健康福祉大学農学部 アグリビジネス研究室

#### 令和5年度第1回農学インターンシップ事前説明会を実施しました(2023/1/12)

令和5年1月12日(木)、群馬県農政部の高橋様を招へいし、群馬県農業関係試験研究機関への実務実習学生への受け入れ、各試験機関の役割や、群馬県庁のインターンシップの受け入れに関する説明をして頂きました。

説明会は2年生向けに行われ、学生56名が参加しました。学生からは、実務実習学生の具体的な受け入れ方法に関わる質問が寄せられ、今後の農学インターンシップ参加への参考としていました。



### 群馬テレビ「JA みどりの風」で農学部のスマート農場が紹介されます(2023/1/19)

農学部スマート農場を中心に、「JA みどりの風」の取材がありました。スマート農場で実施されている研究を中心に、農場で栽培中の作物、スマートグリーンハウスの機能、ドローンの操縦、実験室を含めた学生たちの調査の様子やインタビューが放送されます。

放送日：2023年1月30日（月）21：00～21：30

（再放送：2023年2月5日（日）8：00～8：30）

番組名：群馬テレビ「JA みどりの風」

テーマ：最先端農業を学ぶ！高崎健康福祉大学農学部

～JA 群馬中央会～

<https://www.gtv.co.jp/program/info/ja/>



### 日本農業技術検定に合格しました(2023/1/26)

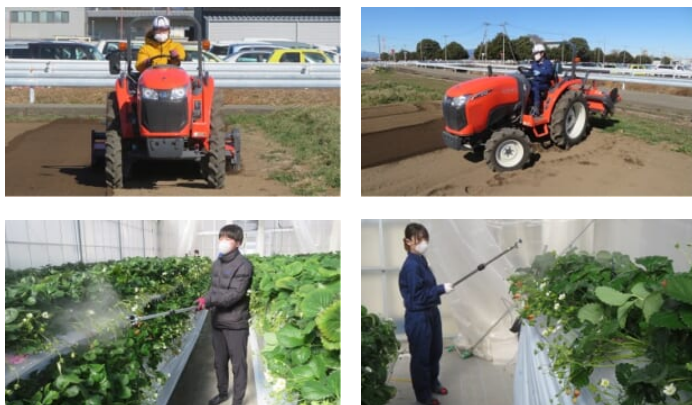
令和4年12月10日（土）、2022年度第2回日本農業技術検定にわが校の3、4年生が受験しました。昨年に続き2回目です。その合格証あるいは合格証明書が届き、令和5年1月23日に農学部長より合格者に授与されました。今回は8名の学生が延べ13の試験を受験し、2級に5名、3級に4名が合格しました。残念ながら、今回も1級合格者は出ませんでした。



### トラクター実習を行いました(2023/2/20)

令和5年2月16日（木）、高崎健康福祉大学附属農場でトラクター実習を行いました。これは、農学部の作物園芸実習では農業機械を使った実習がないため、当日は4年生並びに3年生から4名の希望者が参加し、耕耘作業を行いました。最初は圃場スタッフが横について指導しながらの耕耘でしたが、2回目は学生一人だけで行いました。最初は

おっかなびっくりだった学生も、2回目は余裕を持って操縦していました。この日はこの他に、動力噴霧器を用いたイチゴの農薬散布も行いました。



#### 農学インターンシップ実習報告会の実施(2023/3/13)

令和4年度農学インターンシップ実習報告会を実施しました。選択科目「農学インターンシップ」を受講した3年生が、県内外の農業法人や食品メーカー、公的機関、JAなど、51か所の実習先での実習の内容などを紹介しました。来年度インターンシップを受ける2年生の他、受け入れ先の企業関係者、そして農学部教員が聴講しました。実習生全員が壇上に上がり、代表者が口頭発表しました。教員や下級生からの質問には、実習生全員で答えました。また新型コロナウイルス感染症対策等で来学できなかった受け入れ企業関係者のため、発表会の模様をオンラインで配信しました。

3年生にとって、実際の企業・団体での就業体験を通じ、仕事や業界、社会への理解と関心を高める機会となりました。2年生にとっては来年度のインターンシップに向けて情報を入手する良い機会となりました。

日時：令和5年2月20日（月）13:00～16:00 場所：農学部10号館202・203講義室

参加者数：学生116名（3年生68名、2年生48名）、教員17名、企業7社の関係者11名



口頭発表の様子1

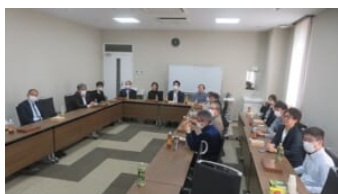
休憩中に受け入れ先にご挨拶

口頭発表に耳を傾ける参加者

口頭発表の様子2(質疑応答)

### 初めての農学部退職記念昼食会が開かれました(2023/3/20)

令和5年3月15日(水)、生物生産学科生命工学研究室の川崎秀樹教授の退職記念昼食会が開かれました。先生は4年前農学部が開設される時に着任し、農学部一期生の卒業に合わせてご退職されます。会では、大政学部長のはなむけのお言葉ののち、まずは黙食で豪華なお弁当をいただきました。その後、川崎先生から感謝のお言葉が述べられ、最後に同室の藤本助教から農学部教員互助会と大学教職員親睦会のお餞別が贈呈されました。コロナ禍のため、一見静かな、しかし厳かな昼食会で送ることが出来ました。



## 11. 来訪者リスト

日付	来訪者	人数	来訪目的
2022/4/8	群馬県こんにゃく特産研究センター	1名	接種試験用コンニャク苗の譲渡
2022/4/25,10/7, 2023/3/13	一般社団法人太平洋アライアンス 合同会社環境塗装	2名	抗菌物質に関する協議
2022/04/27	日本農業法人協会紺野専務理事他	2名	意見交換・調査結果分析打ち合わせ
2022/05/18	野村証券株式会社高崎支店長	2名	果樹産地活性化に関する意見交換
2022/05/20	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	打合せ
2022/05/26	群馬県農政部	1名	農作業安全講習の講師
2022/06/07	富岡市役所農林課	2名	農業労働力確保に関する意見交換
2022/06/21	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	パイ企画企画書発表
2022/06/30	富岡市役所農林課	2名	農業労働力確保事業打ち合わせ
2022/07/04	関東農政局群馬拠点	2名	ディスカバー農山漁村の宝意見交換
2022/07/12	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	パイ企画商品決定
2022/07/19	富岡市農林課	3名	農業労働力プロジェクト説明会
2022/07/22	富岡市農林課	3名	農業労働力プロジェクト説明会
2022/07/26	藤岡地区農業指導センター、 農業経営士、農村生活アドバイザー	13名	農産物流通に関する勉強会
2022/08/10	富岡市農林課	3名	農業労働力プロジェクト説明会
2022/08/23	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	パイ企画製造工程確認

日付	来訪者	人数	来訪目的
2022/09/12	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	パイ企画最終試食
2022/09/22	県西部農業事務所、ワタミファーム	5名	農業振興策共同事業意見交換
2022/10/13	群馬県総合教育センター	10名	高校専門教育研修講座の実施
2022/10/20	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	パイ企画出展打合せ
2022/10/31	BIOSK	1名	地方創生事業打ち合わせ
2022/11/09	群馬県農政部	1名	第1回農学部セミナーの講師
2022/11/11	株式会社アグリクリニック研究所	2名	LAMP法に関する情報交換
2022/11/11,12/7	日東電工株式会社	1名	検出試験全般に関する情報交換
2022/11/16	JA ぐんま研修センター (JA 群馬中央会 JA 経営支援部)	1名	1年必修科目「現代農業事情」ゲストスピーカー
2022/11/22	株式会社ジーシーシー	3名	企業の農業参入について意見交換
2022/11/24	日本土壌協会	2名	土壌検定の紹介
2022/11/29	株式会社クレハ	2名	打合せ
2022/12/06	JA たかさき、 株式会社セレンディップ	2名	パイ企画総括
2022/12/11	横浜植物防疫所	1名	植物病原菌株の管理状況の調査
2022/12/14	NTT 東日本株式会社	3名	人事異動のご挨拶
2023/03/24	富岡市農林課	2名	農業経営力強化に関する意見交換



---

高崎健康福祉大学 農学部・農学研究科年報  
令和4年度（2022年度）  
第4号

発行日 2023年6月

編集 農学部年報委員会

加藤 寛

清水 庸

橋田 庸一

辻 聡

谷 顕子

熊倉 慧（広報委員）

大政謙次（学部長・研究科長）

---